

一般演題プログラム

(ワークショップ・口演)

*本号(()内)のページ数を掲載しております。

ワークショップ		プログラム／抄録		
11月20日(水)	臨床：抗 HIV 療法 -1 /ワークショップ	10:25 ~ 11:45	P.37 P.157	
	基礎：動物モデル /ワークショップ	9:30 ~ 10:20	P.38 P.161	
	感染機構、複製 /ワークショップ	14:00 ~ 14:50	P.38 P.163	
11月21日(木)	社会：カウンセリング -1 /ワークショップ	9:00 ~ 10:05	P.39 P.165	
	検査・相談体制 -1 /ワークショップ	10:10 ~ 11:40	P.39 P.167	
口演		プログラム／抄録		
11月20日(水)	臨床：日和見感染症 -1	9:30 ~ 10:20	P.41 P.171	
	生活習慣病関連合併症 (CVD、脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害) -1	14:00 ~ 14:50	P.41 P.173	
	悪性腫瘍 -1	15:00 ~ 15:50	P.42 P.176	
	基礎：新薬開発	10:25 ~ 11:45	P.42 P.178	
	ワクチン、免疫 -1	15:00 ~ 15:50	P.43 P.182	
	臨床：生活習慣病関連合併症 (CVD、脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害) -2	9:30 ~ 10:30	P.44 P.185	
	生活習慣病関連合併症 (CVD、脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害) -3	10:35 ~ 11:45	P.44 P.188	
	日和見感染症 -2	14:00 ~ 15:00	P.45 P.191	
	日和見感染症 -3	15:05 ~ 15:45	P.46 P.194	
	日和見感染症 -4	15:50 ~ 16:40	P.46 P.196	
	歯科	16:45 ~ 17:45	P.47 P.199	
	社会：行動科学・意識調査、予防・教育	9:30 ~ 10:20	P.47 P.202	
	薬害	10:25 ~ 11:45	P.48 P.204	
	薬物使用	14:00 ~ 14:40	P.49 P.208	
	政策・医療体制 -1	14:45 ~ 15:45	P.49 P.210	
	臨床：HAND-1	9:30 ~ 10:20	P.50 P.213	
	HAND-2	10:25 ~ 11:35	P.50 P.216	
	抗 HIV 療法 -2	14:00 ~ 15:10	P.51 P.219	
	副作用	15:15 ~ 16:05	P.52 P.223	
	社会：政策・医療体制 -2	16:10 ~ 17:10	P.52 P.225	
	MSM	9:30 ~ 10:50	P.53 P.228	
	陽性者支援	10:55 ~ 11:45	P.54 P.232	
	臨床：免疫再構築症候群	14:00 ~ 14:50	P.55 P.234	
	臨床薬理	14:55 ~ 15:45	P.55 P.237	
	基礎：アクセサリ遺伝子	9:30 ~ 10:20	P.56 P.239	
	複製、病原性	10:25 ~ 11:35	P.56 P.242	
	宿主因子 -1	14:00 ~ 14:50	P.57 P.245	
	社会：ソーシャルワーク	14:55 ~ 15:45	P.58 P.248	
	11月21日(木)	基礎：宿主因子 -2	9:00 ~ 9:50	P.58 P.251
		薬剤耐性 (基礎)	9:55 ~ 10:45	P.59 P.253
		分子疫学 -1	10:50 ~ 11:40	P.59 P.256
		臨床：悪性腫瘍 -2	9:00 ~ 9:40	P.60 P.258
		悪性腫瘍 -3	9:55 ~ 10:45	P.60 P.260
生活習慣病関連合併症 (CVD、脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害) -4		10:50 ~ 11:30	P.61 P.263	
その他		17:00 ~ 17:50	P.61 P.265	
看護 -1		9:00 ~ 9:50	P.62 P.267	
看護 -2		9:55 ~ 10:45	P.62 P.270	
薬剤耐性 (臨床)、服薬アドヒアランス		10:50 ~ 11:50	P.63 P.272	
合併症、STI・STD-1		17:00 ~ 17:50	P.64 P.275	
11月22日(金)		臨床：肝炎	9:00 ~ 9:50	P.64 P.278
	合併症、STI・STD-2	9:00 ~ 9:50	P.65 P.280	
	基礎：分子疫学 -2	9:00 ~ 9:40	P.66 P.283	
	感染機構	9:45 ~ 10:45	P.66 P.285	
	ワクチン・免疫 -2	10:50 ~ 11:40	P.67 P.288	
	臨床：母子感染	9:00 ~ 9:50	P.67 P.290	
	カウンセリング -2	9:00 ~ 9:50	P.68 P.293	
	検査・相談体制 -2	9:55 ~ 10:45	P.68 P.295	

■日時：11月20日（水） 10:25～11:45

■会場：第1会場（市民会館崇城大学ホール1階大ホール）

1-1-2 臨床：抗HIV療法-1

座長 横幕能行

((独) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター)

白阪琢磨

(国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター)

1-1-2-1 テノホビル/エムトリシタビン・ロピナビル/リトナビル内服例を現行レジメンとラルテグラビル・ダルナビル/リトナビルに無作為割付する多施設共同臨床試験

西島 健¹⁾、瀧永博之¹⁾、遠藤知之²⁾、堀場昌英³⁾、古賀道子⁴⁾、内藤俊夫⁵⁾、井戸田一朗⁶⁾、鄭 真徳⁷⁾、藤井輝久⁸⁾、高田清式⁹⁾、山本政弘¹⁰⁾、宮川寿一¹¹⁾、田邊嘉也¹²⁾、満屋裕明¹¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 北海道大学病院第二内科
- 3) 国立病院機構東埼玉病院呼吸器科
- 4) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 5) 順天堂大学医学部附属順天堂医院総合診療科
- 6) しらかば診療所
- 7) 佐久総合病院総合診療科
- 8) 広島大学病院輸血部
- 9) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター
- 10) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 11) 熊本大学医学部附属病院感染免疫診療部
- 12) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部

1-1-2-2 EVG/COBI/FTC/TDF 第III相臨床試験におけるアジア人での有効性及び安全性の評価（投与96週時点）

岡 慎一¹⁾、大類 諭²⁾、Zolopa A³⁾、Rockstroh JK⁴⁾、Orkin C⁵⁾、Stellbrink HJ⁶⁾、Walmsley S⁷⁾、Cooper D⁸⁾、Zhong L⁹⁾、Fordyce M⁹⁾、Rhee M S⁹⁾、Szwarcberg J⁹⁾

- 1) 独立行政法人国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) Stanford University
- 4) University of Bonn
- 5) Barts and the London NHS Trust
- 6) ICH Study Center
- 7) Toronto General Hospital
- 8) St Vincent's Hospital
- 9) Gilead Sciences

1-1-2-3 EVG/COBI/FTC/TDF 第III相臨床試験における腎機能に関連する安全性の評価（投与96週時点）－アジア人についての層別集計結果を含む－

松下修三¹⁾、大類 諭²⁾、Post F³⁾、Winston J⁴⁾、Hendry B³⁾、Gazzard B⁵⁾、Molina J⁶⁾、Liu HC⁷⁾、Piontkowsky D⁷⁾、Cheng AK⁷⁾、Rhee MS⁷⁾、Szwarcberg J⁷⁾

- 1) 熊本大学 エイズ学研究センター
- 2) 日本たばこ産業株式会社
- 3) King's College London School of Medicine
- 4) Mount Sinai School of Medicine
- 5) Chelsea and Westminster Hospital
- 6) Saint-Louis Hospital and University of Paris Diderot
- 7) Gilead Sciences

1-1-2-4 国立大阪医療センターでのアイセントレス錠の長期処方例の検討

白阪琢磨¹⁾、渡邊 大¹⁾、矢嶋敬史郎¹⁾、吉野宗宏²⁾、矢倉裕輝²⁾、西本垂矢³⁾、廣田和之¹⁾、伊熊素子¹⁾、小川吉彦¹⁾、笠井大介¹⁾、西田恭治¹⁾、上平朝子¹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科
- 2) 国立病院機構大阪医療センター 薬剤科
- 3) 国立病院機構大阪医療センター 医療情報部

1-1-2-5 当院におけるrilpivirineの使用成績（24週間）

吉村幸浩¹⁾、中拂一彦¹⁾、八板謙一郎¹⁾、五十嵐俊²⁾、立川夏夫²⁾

- 1) 横浜市立市民病院感染症内科
- 2) 横浜市立市民病院薬剤部

1-1-2-6 HIV-1env表現型検査によるMVC耐性化機構の検討

横幕能行¹⁾、鬼頭優美子¹⁾、松田昌和¹⁾、大出裕高^{1,2)}、松岡和弘^{1,2)}、蜂谷敦子^{1,2)}、根本理子¹⁾、前島雅美¹⁾、今村淳治¹⁾、清水宣明³⁾、岩谷靖雅^{1,4)}、杉浦 互^{1,4)}

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター
- 2) エイズ予防財団 リサーチレジデント
- 3) 愛知県立大学 看護学部
- 4) 名古屋大学 大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

1-1-2-7 ART開始患者の葛藤に対する服薬説の有用性～「意思決定の葛藤尺度（Decisional Conflict Scale）日本語版」を用いた解析～

関根祐介¹⁾、東加奈子¹⁾、添田 博¹⁾、川口 崇²⁾、中原紀子²⁾、山口拓洋³⁾、竹内裕紀²⁾、畠崎 榮²⁾、天野景裕⁴⁾、福武勝幸⁴⁾、明石貴雄¹⁾

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
- 2) 東京薬科大学薬学部 医療実務薬学教室
- 3) 東北大学大学院医学系研究科 医学統計学分野
- 4) 東京医科大学病院 臨床検査医学科

1-1-2-8 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗HIV薬処方動向調査(2013年)

日笠 聡¹⁾、小島賢一²⁾、桑原 健³⁾、山元泰之⁴⁾

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 荻窪病院血液科
- 3) 国立循環器病研究センター 薬剤部
- 4) 東京医科大学病院臨床検査医学教室

■日時：11月20日(水) 9:30～10:20

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール2階大会議室)

1-2-1 基礎：動物モデル

座長 明里宏文

(京都大学霊長類研究所)

三浦智行

(京都大学ウイルス研究所)

1-2-1-1 CCR5指向性を示す新規サル指向性HIV-1はサル個体に持続感染する

齊藤 暁^{1,2)}、大附寛幸³⁾、東濃篤徳¹⁾、鈴木紗織¹⁾、松田健太³⁾、高橋尚史⁴⁾、松岡佐織⁴⁾、岩谷靖雅⁵⁾、杉浦 互⁵⁾、野間口雅子⁶⁾、足立昭夫⁶⁾、保富康宏⁷⁾、俣野哲朗⁴⁾、三浦智行³⁾、明里宏文¹⁾

- 1) 京都大学霊長類研究所
- 2) エイズ予防財団
- 3) 京都大学ウイルス研究所
- 4) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 5) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
- 6) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
- 7) (独) 医薬基盤研究所霊長類医学研究センター

1-2-1-2 RNA分解酵素MazFを用いたHIV感染症遺伝子治療法開発—SHIV89.6P感染霊長類モデル—

齊藤直紀¹⁾、蝶野英人¹⁾、柴田宏昭²⁾、揚山直英²⁾、保富康宏²⁾、峰野純一¹⁾

- 1) タカラバイオ株式会社
- 2) (独) 医薬基盤研究所霊長類医学研究センター

1-2-1-3 抗V3抗体および低分子CD4ミミック曝露後投与によるアカゲザルでのSHIV複製抑制

大附寛幸¹⁾、丸田泰広²⁾、橋本知恵³⁾、鳴海哲夫³⁾、廣田雄樹³⁾、原田恵嘉⁴⁾、三浦智行¹⁾、吉村和久⁴⁾、玉村啓和³⁾、松下修三²⁾、五十嵐樹彦¹⁾

- 1) 京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領域
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター
- 3) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 4) 国立感染症研究所エイズ研究センター

1-2-1-4 感染慢性期において血漿中ウイルス量と相関・逆相関する各抗原特異的CTL反応および優位性についての解析

石井洋¹⁾、野村拓志¹⁾、高橋尚史¹⁾、松岡佐織¹⁾、俣野哲朗^{1,2)}

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 東京大学医学研究所

■日時：11月20日(水) 14:00～14:50

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール2階大会議室)

1-2-3 基礎：感染機構、複製

座長 塩田達雄

(大阪大学微生物病研究所)

小柳義夫

(京都大学ウイルス研究所)

1-2-3-1 HIV-1インテグラーゼの逆転写過程以前における非酵素的機能と構造の解析

高畑辰郎、佐藤洋子、長谷川温彦、神奈木真理、増田貴夫

東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科

1-2-3-2 Vpxのリン酸化はHIV感染を制御する

宮川 敬、松永智子、工藤あゆみ、梁 明秀

横浜国立大学医学部微生物学

1-2-3-3 HIV-1 NefによるTRAF2-TAK1カスケード依存性のマクロファージ活性化

橋本倫拓、鈴 伸也

熊本大学エイズ学研究センター

1-2-3-4 ゲノム編集技術による潜伏HIVプロウイルスの制御と除去

蝦名博貴、三沢尚子、金村優香、小柳義夫

京都大学ウイルス研究所・ウイルス病態研究領域

■日時：11月21日（木） 9:00～10:05

■会場：第4会場（熊本市国際交流会館6階ホール）

2-4-1 社会：カウンセリング-1

座長 山中京子

(大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類)

小島賢一

(荻窪病院血液科)

2-4-1-1 ブロック拠点、中核拠点、一般病院別の
カウンセリング体制の現状および課題の
検討—過去5年間の調査研究結果の総合
的分析より—

山中京子¹⁾、古谷野淳子²⁾、早津正博²⁾、
神谷昌枝³⁾、石川雅子⁴⁾

- 1) 大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類
- 2) 新潟大学医歯学総合病院
- 3) 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課
- 4) 千葉県健康福祉部健康増進課感染症対策室

2-4-1-2 カウンセラーのHIVに関する知識と相談
対応への態度との関連—MSMを対象とし
た心理的支援の観点から

松高由佳¹⁾、喜花伸子²⁾、内野悌司³⁾、
日高庸晴⁴⁾

- 1) 広島文教女子大学人間科学部心理学科
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 3) 広島大学保健管理センター
- 4) 宝塚大学看護学部

2-4-1-3 HIV医療におけるカウンセラーの勤務形
態および臨床設定の違いによる、カウ
ンセリング機能の明確化の試み

安尾利彦¹⁾、仲倉高広¹⁾、廣常秀人²⁾、
白阪琢磨³⁾、山中京子⁴⁾

- 1) 大阪医療センター臨床心理室
- 2) 大阪医療センター精神科
- 3) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター
- 4) 大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類

2-4-1-4 派遣カウンセリング制度の拡大および安
定運用への方策の明確化に関する研究

神谷昌枝¹⁾、石川雅子²⁾、野口雅美³⁾、
山中京子⁴⁾

- 1) 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課
エイズ対策係
- 2) 千葉県健康福祉部疾病対策課感染症対策室
- 3) 東京都多摩府中保健所保健対策課
- 4) 大阪府立大学人間社会学部

2-4-1-5 当院のHIV感染者における精神科受診の
実態調査

渡邊愛祈^{1,3)}、仲里 愛^{1,3)}、小松賢亮^{1,3)}、
高橋卓巳²⁾、青木孝弘¹⁾、水島大輔¹⁾、
西島 健¹⁾、木内 英¹⁾、渡辺恒二¹⁾、
本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、田沼順子¹⁾、
照屋勝治¹⁾、湯永博之¹⁾、塚田訓久¹⁾、
加藤 温²⁾、関由賀子²⁾、今井公文²⁾、
菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療研究センター精神科
- 3) エイズ予防財団

■日時：11月21日（木） 10:10～11:40

■会場：第4会場（熊本市国際交流会館6階ホール）

2-4-2 社会：検査・相談体制-1

座長 加藤真吾

(慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室)

福武勝幸

(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

2-4-2-1 病院におけるHIVを含む感染症検査の実
態調査の結果

加藤真吾、須藤弘二

慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室

2-4-2-2 病院でのHIV検査対応の実際、現場の教育・
研修のニーズの内容把握と医療者主体の
検査のあり方の検討 ～病院におけるHIV
を含む感染症検査の実態調査より～

矢永由里子¹⁾、長谷川直樹¹⁾、岩田 敏¹⁾、
加藤真吾²⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
- 2) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室

2-4-2-3 診療所を窓口としたMSM向けHIV検査普
及プログラムの改良に向けた検討

川畑拓也¹⁾、後藤大輔^{2,3)}、町登志雄^{2,3)}、
鬼塚哲郎^{2,4)}、塩野徳史⁵⁾、市川誠一⁵⁾、
岳中美江⁶⁾、岩佐 厚⁷⁾、亀岡 博⁸⁾、
菅野展史⁹⁾、高田昌彦¹⁰⁾、田端運久¹¹⁾、
中村幸生¹²⁾、古林敬一¹³⁾、小島洋子¹⁾、
森 治代¹⁾

- 1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
- 2) MASH大阪
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団
- 4) 京都産業大学
- 5) 名古屋市立大学看護学部
- 6) NPO法人CHARM
- 7) 岩佐クリニック
- 8) 亀岡クリニック
- 9) 菅野クリニック
- 10) 高田泌尿器科
- 11) 田端医院
- 12) 中村クリニック
- 13) そねざき古林診療所

2-4-2-4 民間クリニックにおけるHIV即日検査の導入支援および結果解析

佐野貴子¹⁾、井戸田一朗²⁾、川畑拓也³⁾、
千々和勝己⁴⁾、須藤弘二⁵⁾、近藤真規子¹⁾、
今井光信⁶⁾、加藤真吾⁵⁾、
研究協力民間クリニックの先生方⁷⁾

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) しらかば診療所
- 3) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
- 4) 福岡県保健環境研究所
- 5) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 6) 田園調布学園大学
- 7) 厚生労働科学研究費補助金HIV検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究

2-4-2-5 保健所HIV抗体検査でのカウンセラーの担う役割を検討する ～相談利用の促進・阻害要因に関する質的研究～

森 祐子^{1,6)}、蒔田寛子²⁾、清瀧裕子³⁾、
鬼頭拡美⁴⁾、市川誠一⁵⁾、杉浦 互¹⁾、
横幕能行¹⁾

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター
- 2) 豊橋創造大学保健医療学部
- 3) 愛知淑徳大学心理学部
- 4) 東海中央病院
- 5) 名古屋市立大学看護学部
- 6) エイズ予防財団リサーチレジデント

2-4-2-6 川崎市におけるMSMを対象とした無料HIV/STIs検査相談結果について

星野慎二¹⁾、井戸田一朗^{1,2)}、上田敦久³⁾、
相楽裕子⁴⁾、佐伯理恵⁵⁾、鈴木宣子⁵⁾、
平岡真理子⁵⁾

- 1) 特定非営利活動法人 SHIP
- 2) しらかば診療所
- 3) 横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科
- 4) 東京都保健医療公社豊島病院感染症内科
- 5) 川崎市健康福祉局

2-4-2-7 HIV郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2012)

須藤弘二¹⁾、佐野貴子²⁾、近藤真規子²⁾、
今井光信³⁾、加藤真吾¹⁾

- 1) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
- 2) 神奈川県衛生研究所 微生物部
- 3) 田園調布学園大学

一般演題(口演)

■日時：11月20日(水) 9:30～10:20

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール1階大ホール)

1-1-1 臨床：日和見感染症-1

座長 宮川寿一

(熊本大学医学部附属病院血液内科 膠原病内科 感染免疫診療部)

永井英明

(独立行政法人国立病院機構東京病院呼吸器センター)

1-1-1-1 HIV感染患者における可溶性IL-2受容体増加の意義

宮川寿一、中田浩智、満屋裕明

熊本大学医学部附属病院
血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部

1-1-1-2 多孔質体を用いた簡易遺伝子精製(PURE法)とLAMP法とを組み合わせた、Pneumocystis jiroveciiの迅速簡易診断法の新規開発と臨床応用

河野修一¹⁾、前田卓哉¹⁾、阿部竜大²⁾、鈴木剛史³⁾、三木田馨¹⁾、濱川侑介¹⁾、森近恭子¹⁾、小野岳史²⁾、曾根原亘³⁾、宮平 靖²⁾、川名明彦¹⁾

1) 防衛医科大学校 内科学講座(感染症・呼吸器)
2) 防衛医科大学校 国際感染症学講座
3) 防衛医科大学校病院 薬剤部

1-1-1-3 CD4数200/ μ L以上にも関わらずエイズ発症に至った20症例における検討

山元 佳、上村 悠、的野多加志、柳川泰昭、石金正裕、水島大輔、西島 健、青木孝弘、木内 英、渡辺恒二、本田元人、矢崎博久、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター ACC

1-1-1-4 HIV患者のMycobacterium aviumとMycobacterium kansasiiの共感染の一例

上村 悠、石金正裕、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

1-1-1-5 多剤耐性結核とHIV感染合併の全国実態調査

藤田 明¹⁾、永井英明²⁾、青木孝弘³⁾、岡田全司⁴⁾

1) 東京都保健医療公社多摩北部医療センター呼吸器内科
2) 国立病院機構東京病院呼吸器センター
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
4) 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター

■日時：11月20日(水) 14:00～14:50

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール1階大ホール)

1-1-3 臨床：生活習慣病関連合併症-1

座長 南 留美

(国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科)

遠藤知之

(北海道大学大学院医学研究科医学専攻内科学講座血液内科学分野)

1-1-3-1 アディポネクチン遺伝子、グルコキナーゼ調節タンパク遺伝子変異が抗HIV薬による脂質代謝異常に与える影響

南 留美、高橋真梨子、高濱宗一郎、中嶋恵理子、郭 悠、城崎真弓、長与由紀子、山本政弘

国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症科

1-1-3-2 HIV感染者における動脈の硬化(arterial stiffness) —非感染者との比較—

古西 満^{1,2)}、宇野健司²⁾、善本英一郎^{2,3)}、治田匡平⁴⁾、松島紫乃⁴⁾、谷口美苗⁵⁾、福盛達也²⁾、小川 拓²⁾、米川真輔²⁾、笠原 敬²⁾、中村(内山)ふくみ²⁾、前田光一²⁾、三笠桂一²⁾

1) 奈良県立医科大学健康管理センター
2) 奈良県立医科大学感染症センター
3) 奈良厚生会病院感染制御室
4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
5) 奈良県立医科大学附属病院看護部

1-1-3-3 HIV感染者における骨密度、およびその低下要因

木内 英、叶谷文彦、水島大輔、西島 健、渡辺恒二、青木孝弘、矢崎博久、本田元人、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

1-1-3-4 HIV関連免疫複合体型腎炎に対し父子間生体腎移植を実施した一例

白野倫徳¹⁾、亀田和明¹⁾、羽田野義郎¹⁾、笠松 悠¹⁾、後藤哲志¹⁾、浅井利大²⁾、金 卓²⁾、市田裕之³⁾

1) 大阪市立総合医療センター感染症センター
2) 大阪市立総合医療センター泌尿器科
3) 大阪市立総合医療センター薬剤部

一般演題(口演)

1-1-3-5 本邦のHIV感染者における慢性腎臓病の有病率—新分類を用いた多施設共同調査—

柳澤如樹^{1,2)}、村松 崇³⁾、鯉淵智彦⁴⁾、乾 啓洋⁵⁾、相野田祐介⁶⁾、内藤俊夫⁵⁾、山元泰之³⁾、新田孝作²⁾、味澤 篤¹⁾、福武勝幸³⁾、岩本愛吉⁴⁾、安藤 稔^{2,7)}

- 1) 東京都立駒込病院感染症科
- 2) 東京女子医科大学病院腎臓内科
- 3) 東京医科大学病院臨床検査医学科
- 4) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 5) 順天堂大学医学部総合診療科
- 6) 東京女子医科大学病院感染症科
- 7) 東京都立駒込病院腎臓内科

■日時：11月20日(水) 15:00～15:50

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール1階大ホール)

1-1-4 臨床：悪性腫瘍-1

座長 永井宏和

(国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター)

岡田誠治

(熊本大学エイズ学研究センター)

1-1-4-1 日本におけるエイズ関連リンパ腫の病理組織分類

片野晴隆¹⁾、味澤 篤²⁾、田沼順子³⁾、萩原将太郎³⁾、岡 慎一³⁾、矢嶋敬史郎⁴⁾、小泉祐介⁴⁾、上平朝子⁴⁾、鯉淵智彦⁵⁾、岩本愛吉⁵⁾、横幕能行⁶⁾、小島勇貴⁶⁾、永井宏和⁶⁾、岡田誠治⁷⁾

- 1) 国立感染症研究所感染病理部
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院
- 3) 国立国際医療研究センター
- 4) 国立病院機構大阪医療センター
- 5) 東京大学医科学研究所病院
- 6) 名古屋医療センター
- 7) 熊本大学エイズ学研究センター

1-1-4-2 剖検にてLarge B-cell lymphoma arising in human herpesvirus 8-associated multicentric Castlemans diseaseの合併が明らかとなった治療抵抗性カポジ肉腫の1例

四本美保子¹⁾、村松 崇¹⁾、塩塚美歌¹⁾、清田育男¹⁾、備後真登¹⁾、一木昭人¹⁾、大瀧 学¹⁾、尾形享一¹⁾、近澤悠志¹⁾、鈴木隆史¹⁾、萩原 剛¹⁾、天野景裕¹⁾、山元泰之¹⁾、福武勝幸¹⁾、片野晴隆²⁾

- 1) 東京医科大学臨床検査医学科
- 2) 国立感染症研究所感染病理部

1-1-4-3 カポジ肉腫による気道狭窄を生じたエイズ患者3例の検討

加藤博史¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾

- 1) 東京都立駒込病院感染症科
- 2) 同臨床検査科

1-1-4-4 Primary effusion lymphomaの体液貯留形成におけるIL-6の役割

後藤裕樹¹⁾、田浦 学¹⁾、工藤恵理子¹⁾、松田幸樹¹⁾、刈谷龍昇¹⁾、片野晴隆²⁾、岡田誠治¹⁾

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) 国立感染症研究所

1-1-4-5 HAMLET/BAMLETの原発性滲出性悪性リンパ腫に対する抗腫瘍効果

刈谷龍昇¹⁾、松田幸樹¹⁾、中村 敬²⁾、古水雄志³⁾、鈴木 元⁴⁾、桑島邦博²⁾、上岡龍一³⁾、岡田誠治¹⁾

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) 岡崎総合バイオセンター
- 3) 崇城大学生物生命学部応用生命科学科
- 4) 名古屋大学神経疾患腫瘍分子医学研究センター

■日時：11月20日(水) 10:25～11:45

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール2階大会議室)

1-2-2 基礎：新薬開発

座長 玉村啓和

(東京医科歯科大学生体材料工学研究所)

蜂谷敦子

(名古屋医療センター臨床研究センター 感染・免疫研究部)

1-2-2-1 三環系クマリン化合物GUT-70のHIV-1侵入抑制効果

松田幸樹¹⁾、服部真一朗¹⁾、刈谷龍昇¹⁾、古水雄志²⁾、工藤恵理子¹⁾、後藤裕樹¹⁾、田浦 学¹⁾、木村晋也³⁾、上岡龍一²⁾、岡田誠治¹⁾

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) 崇城大学生物生命学部応用生命科学科
- 3) 佐賀大学医学部血液・呼吸器・腫瘍内科

1-2-2-2 新規天然有機化合物(GUT-70)によるHIV-1増殖抑制効果

工藤恵理子¹⁾、田浦 学¹⁾、松田幸樹¹⁾、嶋本雅子¹⁾、刈谷龍昇¹⁾、後藤裕樹¹⁾、服部真一朗¹⁾、木村晋也²⁾、岡田誠治¹⁾

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) 佐賀大学医学部血液・呼吸器・腫瘍内科

1-2-2-3 ヒト化抗HIV-1モノクローナル抗体(KD-247)フェーズ1b試験成績

村上利夫¹⁾、前田敏宏¹⁾、松下修三²⁾

- 1) 化血研
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター

一般演題(口演)

1-2-2-4 HIV-1外被タンパク質gp41-CHRの二量体構造を基盤とした膜融合阻害剤の有用性

野村 渉¹⁾、橋本知恵¹⁾、鳴海哲夫¹⁾、藤野真之²⁾、村上 努²⁾、玉村啓和¹⁾

1) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター

1-2-2-5 カプシドと核膜移行を標的とした低分子化合物の開発とその作用機序の解明

蜂谷敦子^{1,2)}、Christie Pautler¹⁾、Jennifer Moran¹⁾、Sanath Janaka¹⁾、Karen A. Kirby¹⁾、Eleftherios Michailidis¹⁾、Yee Tsuey Ong¹⁾、岡 慎一³⁾、Michael A. Parniak⁴⁾、前島雅美²⁾、松岡和弘²⁾、岩谷靖雅^{2,5)}、Kyeong Eun Lee⁶⁾、Vineet N. Kewal Ramani⁶⁾、Kamalendra Singh¹⁾、杉浦 亙^{2,5)}、Stefan G. Sarafianos¹⁾

1) University of Missouri School of Medicine
2) 国立病院機構名古屋医療センター
3) 国立国際医療研究センター
4) University of Pittsburgh School of Medicine
5) 名古屋大学、大学院医学研究科
6) National Cancer Institute

1-2-2-6 Advanced mechanistic studies of GSK1265744, a new HIV integrase inhibitor (INI) dosed by oral administration or long-acting parenteral injection

Seki Takahiro、Suyama-Kagitani Akemi、Miki Shigeru、Wakasa-Morimoto Chiaki、Kobayashi Masanori、Yoshinaga Tomokazu、Fujiwara Tamio、Sato Akihiko
SHIONOGI & CO., LTD.

1-2-2-7 新規プロテアーゼ阻害剤GRL-015、-085、-097は、プロテアーゼD29、D30、G48の主鎖と重要な水素結合を形成、多剤耐性HIV-1変異体に強力な活性を發揮する

青木 学^{1,2)}、林 宏典¹⁾、Ravikiran S. Yedidi³⁾、Debananda Das³⁾、青木宏美¹⁾、Cuthbert D. Martyr⁴⁾、Arun K. Ghosh⁴⁾、満屋裕明^{1,3)}

1) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液内科学・感染免疫診療部
2) 熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科
3) 米国国立癌研究所・レトロウイルス感染症部
4) Depts. of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue Univ

1-2-2-8 New HIV-1 protease inhibitors with potent antiviral activity and potentially favorable CNS penetration

Pedro Miguel Salcedo Gómez¹⁾、Masayuki Amano¹⁾、Arun K. Ghosh²⁾、Hiroaki Mitsuya^{1,3)}

1) Departments of Infectious Diseases and Hematology, Kumamoto University School of Medicine
2) Departments of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University, West Lafayette, IN
3) Experimental, Retrovirology Section, HIV and AIDS Malignancy Branch NCI/NIH

■日時：11月20日(水) 15:00～15:50

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール2階大会議室)

1-2-4 基礎：ワクチン、免疫-1

座長 田中勇悦

(琉球大学大学院医学研究科免疫学講座)

前田洋助

(熊本大学大学院生命科学研究部感染防御学分野)

1-2-4-1 Combination of anti-V3 antibodies as a possible strategy for controlling transmitted/founder virus

Kristel Ramirez¹⁾、Takeo Kuwata¹⁾、Yasuhiro Maruta¹⁾、Kazuki Tanaka¹⁾、Muntasir Alam¹⁾、Yoko Kawanami¹⁾、Ikumi Enomoto¹⁾、Hirokazu Tamamura²⁾、Kazuhisa Yoshimura^{1,3)}、Shuzo Matsushita¹⁾

1) Kumamoto University, Center for AIDS Research
2) Institute of Biomaterials and Bioengineering, Tokyo Medical and Dental University
3) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases

1-2-4-2 抗V3抗体の小型化によるCD4結合後のHIV-1中和活性の増進

丸田泰広¹⁾、桑田岳夫¹⁾、田中和樹¹⁾、Kristel Ramirez¹⁾、Muntasir Alam¹⁾、江上由華¹⁾、中原悠介²⁾、諏訪喜昭²⁾、森岡弘志²⁾、松下修三¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センター
2) 熊本大学薬学教育部生命分析化学分野

1-2-4-3 CXCR4架橋によるHIV-1感染とT細胞活性化の抑制

田中勇悦¹⁾、田中礼子^{1,2)}

1) 琉球大学大学院医学研究科免疫学講座
2) (株) 琉球免疫研究所

一般演題(口演)

1-2-4-4 Enfuvirtide resistant mutation N43D is associated with the enhanced neutralization by 10E8, a broadly neutralizing antibody against gp41 MPER

Muntasir Alam¹⁾、Takeo Kuwata¹⁾、Kristel Ramirez¹⁾、Ikumi Enomoto¹⁾、Yasuhiro Maruta¹⁾、Kazuki Tanaka¹⁾、Kumkum Rahman¹⁾、Yoshika Egami¹⁾、Yoko Kawanami¹⁾、Hiroto Murayama²⁾、Kazuya Shimura²⁾、Masao Matsuoka²⁾、Shuzo Matsushita¹⁾

1) Center for AIDS Research, Kumamoto University
2) Institute for Virus Research, Kyoto University

1-2-4-5 日本人と白人における HIV-1 サブタイプ B の HLA-Associated Polymorphism の比較解析

近田貴敬¹⁾、Jonathan M. Carlson²⁾、田村美子¹⁾、Mohamed Ali Borghan^{1,3)}、成戸卓也¹⁾、端本昌夫¹⁾、村越勇人¹⁾、Simon Mallal⁴⁾、Mina John⁴⁾、瀧永博之^{1,5)}、岡 慎一^{1,5)}、Zabrina L. Brumme⁶⁾、滝口雅文¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センター
2) Microsoft Research, USA
3) Oman Medical College, Oman
4) Murdoch University, Australia
5) 国立国際医療研究センター
6) Simon Fraser University, Canada

1-3-1-3 高齢 HIV 感染者における骨密度の経時的変化

村松 崇、山元泰之、一木昭人、近澤悠志、備後真登、塩塚美歌、丹羽一貴、清田育男、四本美保子、大瀧 学、尾形享一、萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、福武勝幸

東京医科大学病院臨床検査医学科

1-3-1-4 当院における HIV 感染者のビタミン D の検討

遠藤知之¹⁾、藤本勝也¹⁾、南 昭子²⁾、吉田美穂^{1,3)}、竹村 龍^{1,3)}、渡部恵子⁴⁾、坂本玲子³⁾、武内阿味³⁾、杉田純一¹⁾、重松明男^{1,2)}、近藤 健¹⁾、橋野 聡¹⁾、清水 力²⁾、豊嶋崇徳¹⁾

1) 北海道大学病院 血液内科
2) 北海道大学病院 検査・輸血部
3) エイズ予防財団
4) 北海道大学病院 看護部

1-3-1-5 日本人男性 HIV 感染症患者における 25 hydroxyvitamin D の評価と 1,25 dihydroxyvitamin D との相関

古賀一郎、妹尾和憲、吉野友祐、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座

■日時：11月20日(水) 9:30～10:30

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階第5+6会議室)

1-3-1 臨床：生活習慣病関連合併症-2

座長 花房秀次

(医療法人財団 荻窪病院血液科)

白野倫徳

(大阪市立総合医療センター感染症センター)

1-3-1-6 HIV 男性患者における骨代謝異常と性腺機能低下症の検討

関谷綾子¹⁾、柳澤如樹²⁾、菅沼明彦²⁾、今村顕史²⁾、片柳直子¹⁾、坂野康昌³⁾、味澤 篤²⁾、久保田憲¹⁾

1) 都立駒込病院内分泌代謝科
2) 都立駒込病院感染症科
3) つくば国際大学診療放射線学科

■日時：11月20日(水) 10:35～11:45

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階第5+6会議室)

1-3-2 臨床：生活習慣病関連合併症-3

座長 田邊嘉也

(新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

村松 崇

(東京医科大学病院臨床検査医学科)

1-3-1-1 ART 導入による骨塩定量と骨代謝マーカーの推移

高濱宗一郎¹⁾、南 留美¹⁾、郭 悠¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、長與由紀子²⁾、城崎真弓²⁾、山本政弘¹⁾、安藤 仁³⁾、喜安純一⁴⁾

1) 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症科
2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部
3) 聖マリアンナ医科大学大学院 難病治療研究センター
4) 九州大学大学院 病態制御内科学

1-3-1-2 cART にて治療中の日本人男性 HIV 感染者における骨密度の経時的変化の解析

古賀一郎、妹尾和憲、吉野友祐、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座

1-3-2-1 ART 初回導入例における腎機能の経時的変化の検討

堀場昌英¹⁾、森田暁壮¹⁾、増田貴史¹⁾、中野滋文¹⁾、鈴木清美²⁾、人見公代²⁾

1) 国立病院機構東埼玉病院 呼吸器科
2) 国立病院機構東埼玉病院 看護部

一般演題(口演)

1-3-2-2 クレアチニンに基づいた推算糸球体ろ過量とシスタチンCに基づいた糸球体ろ過量についての検討

日笠真一¹⁾、安田 恵¹⁾、秀田恭子¹⁾、木村 健¹⁾、澤田暁宏²⁾、徳川多津子²⁾、日笠 聡²⁾

1) 兵庫医科大学病院薬剤部
2) 兵庫医科大学血液内科

1-3-2-3 当科におけるHIV感染者の慢性腎臓病の有病率および腎関連検査の経時的変化

村松 崇、山元泰之、一木昭人、近澤悠志、備後真登、塩塚美歌、丹羽一貴、清田育男、四本美保子、大瀧 学、尾形享一、萩原 剛、鈴木隆史、天野景裕、福武勝幸

東京医科大学病院臨床検査医学科

1-3-2-4 ハノイのHIV感染者におけるテノフォビル使用による腎機能障害に対する影響

水島大輔¹⁾、田沼順子¹⁾、叶谷文秀¹⁾、瀧永博之^{1,2)}、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一^{1,2)}

1) 国立国際医療研究センター
2) 熊本大学エイズ学研究センター

1-3-2-5 抗HIV薬服用患者の腎機能低下に対する薬剤科による介入の試み

富島公介¹⁾、水守康之²⁾、勝田倫子²⁾、保崎有紀¹⁾、川戸順之¹⁾、田中三晶¹⁾、望月吉郎²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター薬剤科
2) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター呼吸器内科

1-3-2-6 HIV感染者における動脈硬化症と炎症マーカー

本田元人、上村 悠、杉原 淳、柳川泰昭、的野多加志、石金正裕、山元 圭、水島大輔、西島 健、木内 英、青木孝弘、渡辺恒二、矢崎博久、田沼順子、塚田訓久、瀧永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター

1-3-2-7 IVFで挙児を得た後に脳血管障害を起こしたHIV感染症夫婦

前田裕弘、岩田吉生、江口 剛、口分田貴裕、山口晃史

国立病院機構大阪南医療センター

■日時：11月20日(水) 14:00～15:00

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階第5+6会議室)

1-3-3 臨床：日和見感染症-2

座長 照屋勝治

(国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センター)

宇野健司

(奈良県立医科大学 感染症センター)

1-3-3-1 HIV感染症合併ニューモシスチス肺炎の治療に用いたスルファメトキサゾール/トリメトプリムによる低Na血症に関する検討

古川龍太郎¹⁾、高谷紗帆¹⁾、大亀路生²⁾、佐藤秀憲²⁾、菊地 正²⁾、宮崎菜穂子³⁾、中村仁美⁴⁾、安達英輔¹⁾、古賀道子²⁾、鯉淵智彦¹⁾、岩本愛吉^{1,2,4)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
3) 東京大学医科学研究所附属病院薬剤部
4) 東京大学医科学研究所国際感染症研究センター

1-3-3-2 ニューモシスチス肺炎の初期画像所見を健康診断の胸部CT検査で指摘出来た2例の検討

福島一彰¹⁾、森岡 悠¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床微生物科

1-3-3-3 縦隔気腫を合併したAIDS関連ニューモシスチス肺炎の2例

善本英一郎^{1,2)}、古西 満³⁾、宇野健司²⁾、治田匡平⁴⁾、小川 拓²⁾、笠原 敬²⁾、三笠桂一²⁾

1) 奈良厚生会病院感染制御室
2) 奈良県立医科大学感染症センター
3) 奈良県立医科大学健康管理センター
4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

1-3-3-4 当院におけるAtovaquoneの使用状況調査

櫛田宏幸¹⁾、吉野宗宏¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、小川吉彦²⁾、大寺 博²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター薬剤科
2) 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター感染症内科

一般演題(口演)

1-3-3-5 HIV合播種性MAC症における血清学的診断の後視的検討

青木孝弘、石金正裕、水島大輔、西島 健、木内 英、渡辺恒二、本田元人、矢崎博久、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、湯永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

1-3-3-6 診断に苦慮した肺結節影の症例

後藤耕司、杉森祐介、竹島雄介、十菱大介、中村春香、畠山修司、四柳 宏

東京大学医学部附属病院感染症内科

■日時：11月20日(水) 15:05～15:45

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階第5+6会議室)

1-3-4 臨床：日和見感染症-3

座長 菅沼明彦

(がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

木内 英

(国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センター)

1-3-4-1 当院で経験したトキソプラズマ脳症の8症例

高宮みさき、島谷倫次、田島靖久、矢野邦夫

浜松医療センター 感染症内科

1-3-4-2 AIDSに合併するトキソプラズマ脳炎の診断に対する抗体検査の有用性の検討

三木田馨¹⁾、前田卓哉¹⁾、菅沼明彦²⁾、今村顕史²⁾、藤倉雄二¹⁾、川名明彦¹⁾、加藤康幸³⁾、大西健児⁴⁾、味澤 篤²⁾

1) 防衛医科大学校 内科学(感染症・呼吸器)
2) がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科
3) 国立国際医療研究センター 国際感染症センター 国際感染症対策室
4) 東京都立墨東病院 感染症科

1-3-4-3 AIDS関連トキソプラズマ脳炎に対する代替治療薬としてアトバコンを使用した1症例

服部公紀¹⁾、坂部茂俊²⁾、辻 幸太²⁾、小倉香里³⁾、森尾志保³⁾、安達綾子³⁾、谷村 学¹⁾

1) 伊勢赤十字病院薬剤部
2) 伊勢赤十字病院内科
3) 伊勢赤十字病院看護部

1-3-4-4 MRI画像において治療薬投与に対する病変部の造影効果の減弱が脳原発悪性リンパ腫との早期鑑別に役立ったAIDS関連トキソプラズマ脳症の1例

勝田倫子¹⁾、鏡 亮吾¹⁾、水守康之¹⁾、河村哲治¹⁾、中原保治¹⁾、望月吉郎¹⁾、東野貴徳²⁾、竹松茂樹³⁾

1) NHO 姫路医療センター 呼吸器内科
2) NHO 姫路医療センター 放射線科
3) NHO 京都医療センター 薬剤科

■日時：11月20日(水) 15:50～16:40

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階第5+6会議室)

1-3-5 臨床：日和見感染症-4

座長 古西 満

(奈良県立医科大学 健康管理センター)

上平朝子

(国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科
HIV/AIDS 先端医療開発センター)

1-3-5-1 水痘帯状疱疹ウイルスによる急性網膜壊死を合併したHIV感染者の1例

古畑匡規¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、山本成経³⁾、味澤 篤¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
3) がん・感染症センター都立駒込病院眼科

1-3-5-2 当院でのHIV感染症例における帯状疱疹に関する検討

渡邊珠代^{1,2)}、鶴見 寿^{1,3)}、石原正志^{1,4)}、鶴見広美^{1,5)}、河田祐里⁵⁾、村上啓雄²⁾、森脇久隆³⁾

1) 岐阜大学医学部附属病院 エイズ対策推進センター
2) 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター
3) 岐阜大学医学部第一内科
4) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
5) 岐阜大学医学部附属病院看護部

1-3-5-3 ウェスタンブロット法で陰性が持続するHIVおよび、CMV初感染の1症例

佐野彰彦¹⁾、佐野麻里子²⁾、寺澤典子²⁾、河合 伸¹⁾

1) 杏林大学医学部総合医療学教室
2) 杏林大学附属病院看護部

1-3-5-4 HIV感染急性期にサイトメガロウイルス(CMV)肺炎を合併した1症例

川畑仁貴¹⁾、松浦基夫¹⁾、大田加与²⁾、大成功一²⁾、藤本卓司³⁾

1) 市立堺病院腎代謝免疫内科
2) 市立堺病院呼吸器内科
3) 市立堺病院総合内科

一般演題(口演)

1-3-5-5 サイトメガロウイルス脳炎の臨床的病勢 評価に認知機能検査を用いた一例

仲里 愛¹⁾、西島 健¹⁾、山元 佳¹⁾、
矢崎博久¹⁾、渡邊愛祈^{1,2)}、小松賢亮^{1,2)}、
田沼順子¹⁾、照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、
岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター
2) エイズ予防財団リサーチレジデント

1-3-6-4 新潟大学医歯学総合病院歯科における HIV感染症患者の臨床的検討

永井孝宏¹⁾、児玉泰光¹⁾、山田瑛子¹⁾、村山正
晃¹⁾、池野良¹⁾、田邊嘉也²⁾、高木律男¹⁾

1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科
顎顔面口腔外科学分野
2) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部

■日時：11月20日(水) 16:45～17:45

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階
第5+6会議室)

1-3-6 臨床：歯科

座長 吉川博政

(国立病院機構九州医療センター歯科口腔外科)

宇佐美雄司

(名古屋医療センター歯科口腔外科)

1-3-6-5 愛知県におけるHIV感染者の歯科医療体 制構築の取組み

宇佐美雄司¹⁾、菱田純代¹⁾、渡辺俊之²⁾、
宮田泰²⁾、北折秀和³⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科
2) 愛知県歯科医師会
3) 愛知県健康福祉部健康担当局

1-3-6-6 卒後臨床研修歯科医師におけるHIV感 染症の認識について

宇佐美雄司¹⁾、渡辺俊之²⁾、宮田 泰²⁾

1) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科
2) 愛知県歯科医師会

1-3-6-1 当院通院中のHIV陽性患者における歯科 の診療状況についての検討

今村顕史¹⁾、柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、
味澤 篤¹⁾、関矢早苗²⁾、野本和美²⁾

1) 東京都立駒込病院感染症科
2) 同院看護部

1-3-6-2 拠点病院と歯科診療所との連携に関する 考察 第3報 - 研修会の現状と歯科医 療体制のネットワーク化の取組み -

宮田 勝¹⁾、高木純一郎¹⁾、能島初美²⁾、
山本裕佳²⁾、上田幹夫³⁾、山田三枝子⁴⁾、
辻 典子⁴⁾、溝部潤子⁵⁾、前田憲昭⁶⁾

1) 石川県立中央病院歯科口腔外科
2) 石川県立中央病院歯科技術室
3) 石川県立中央病院免疫感染症科
4) 石川県立中央病院・
公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
5) 神戸常盤大学短期大学部
6) 医療法人社団皓歯会

1-3-6-3 神奈川県HIV歯科診療ネットワークにお ける専門的歯科診療の受け入れ体制に関 する調査

筑丸 寛¹⁾、上田敦久²⁾、小森康雄³⁾、
泉福英信⁴⁾、金子明寛⁵⁾、池田正一⁶⁾、
石井良昌⁷⁾、竹林早苗⁸⁾、松山奈央⁸⁾、
松井周一⁹⁾、友田安政¹⁰⁾、白井 輝¹¹⁾、
石ヶ坪良明²⁾、藤内 祝¹⁾

1) 横浜市立大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能制御学
2) 横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学
3) 東京医科大学医学部口腔外科学講座
4) 国立感染症研究所細菌第一部
5) 東海大学医学部外科学系口腔外科
6) 神奈川県立総合医療センター小児・障害者歯科
7) 海老名総合病院歯科・口腔外科
8) 横浜市立大学附属病院看護部
9) 横浜市立大学附属病院薬剤部
10) 横浜市立大学附属病院福祉・継続看護相談室
11) 聖ヨゼフ病院

■日時：11月20日(水) 9:30～10:20

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館6階ホール)

1-4-1 社会：行動科学・意識調査、予防・教育

座長 若林チヒロ

(埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科)

本間隆之

(山梨県立大学看護学部)

1-4-1-1 ニューモシスチス肺炎によるAIDS発症を 契機にHIV感染を確認した受刑者の2例

藤川祐子¹⁾、関さく江²⁾、中島恵利子²⁾、
宮島寛幸³⁾、宮崎多恵³⁾、西澤美佳子⁴⁾、
山崎 喬⁴⁾、武川 正⁴⁾、鹿児島崇¹⁾、
山崎善隆¹⁾、齊藤 博¹⁾

1) 長野県立須坂病院 内科
2) 同 看護部
3) 同 薬剤科
4) 同 地域医療福祉連携室

1-4-1-2 看護師による大学生へのHIV/AIDS予防教 育の取組み

川端有紀

旭川医科大学病院看護部

1-4-1-3 市民主体の地域啓発活動の検証

小西加保留¹⁾、梶原秀晃²⁾、脊戸京子³⁾、
高田雅章³⁾、戸田伸夫⁴⁾、大野まどか⁵⁾

1) 関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科
2) 大阪市淀川区保健福祉センター
3) 地域生活支援センターあん
4) 門真子どもを守る市民の会
5) 大阪人間科学大学人間科学部社会福祉学科

一般演題(口演)

1-4-1-4 障害者福祉施設職員を対象としたHIV/AIDS患者の施設利用に関する意識調査

細井舞子¹⁾、安井典子¹⁾、山崎理沙²⁾、
澤口智登里³⁾、松本珠実¹⁾、奥町彰礼¹⁾、
廣川秀徹¹⁾、半羽宏之¹⁾

1) 大阪市保健所感染症対策課(感染症グループ)
2) 大阪市淀川区保健福祉センター
3) 大阪市北区保健福祉センター

1-4-1-5 HIV陽性者の情報を含めたMSM向けの予防啓発ワークショップ「LIFEGURD 2012」

藤部荒術¹⁾、嶋田憲司¹⁾、河口和也^{1,2)}、
高嶋能文³⁾、飯塚信吾¹⁾、太田昌二¹⁾、
新美 広¹⁾

1) HIV陽性者の情報を含めたMSM向けの予防啓発
ワークショップ「LIFEGURD 2012」
2) 広島修道大学
3) 医療法人社団めぐみ会 自由が丘メディカルプラザ2
小児科

1-4-2-4 HIV感染血液凝固異常症における生存解析：2012年5月31日まで

立浪 忍¹⁾、三間屋純一²⁾、白幡 聡³⁾、
大平勝美⁴⁾、仁科 豊⁵⁾、花井十伍⁶⁾、
桑原理恵⁷⁾、秋田美恵子⁸⁾、瀧 正志⁹⁾

1) 聖マリアンナ医科大学医学統計学
2) 静岡県熱海健康福祉センター
3) 北九州八幡東病院
4) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
5) 仁科・深道法律事務所
6) ネットワーク医療と人権
7) 聖マリアンナ医科大学アイソトープ研究施設
8) 聖マリアンナ医科大学小児科
9) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

1-4-2-5 血友病HIV感染患者に対するインタビュー調査からの現状把握とカウンセリングに関する研究

藤原良次¹⁾、橋本 謙²⁾、早坂典生¹⁾、
山田富秋³⁾、種田博之⁴⁾、藤原 都¹⁾、
白阪琢磨⁵⁾

1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
2) 岐阜県/愛知県スクールカウンセラー
3) 松山大学
4) 産業医科大学
5) 国立病院機構大阪医療センター

■日時：11月20日(水) 10:25～11:45

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館6階ホール)

1-4-2 社会：薬害

座長 大平勝美

(社会福祉法人はばたき福祉事業団)

立浪 忍

(聖マリアンナ医科大学医学統計学)

1-4-2-6 HIV/HCV重複感染患者の支援特性(第1報) ICF(国際生活機能分類)に基づく生活機能尺度の開発

柿沼章子¹⁾、久地井寿哉¹⁾、岩野友里²⁾、
藤谷順子³⁾、大平勝美¹⁾

1) 社会福祉法人 はばたき福祉事業団
2) 公益財団法人 エイズ予防財団
3) 独立行政法人 国立国際医療研究センター
リハビリテーション科

1-4-2-1 薬害HIV感染患者の血精液の経験調査からみえてきたこと

佐藤知恵、福武勝幸、天野景裕

東京医科大学病院

1-4-2-7 HIV/HCV重複感染患者の支援特性(第2報) 生活機能の社会的格差の分析

久地井寿哉¹⁾、柿沼章子¹⁾、岩野友里²⁾、
藤谷順子³⁾、大平勝美¹⁾

1) 社会福祉法人 はばたき福祉事業団
2) 公益財団法人 エイズ予防財団
3) 独立行政法人 国立国際医療研究センター
リハビリテーション科

1-4-2-2 HIV感染血友病患者の包括的視点による支援特性のパイロット調査

大金美和、池田和子、塩田ひとみ、
中家奈緒美、木下真理、小山美紀、
伊藤 紅、田沼順子、照屋勝治、
塚田訓久、瀧永博之、菊池 嘉、
岡 慎一

独立行政法人国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター

1-4-2-8 HIV/HCV重複感染患者の支援特性(第3報) 自己観察記録に基づく期間健康特性の分析

岩野友里¹⁾、久地井寿哉²⁾、柿沼章子²⁾、
大平勝美²⁾

1) 公益財団法人 エイズ予防財団
2) 社会福祉法人 はばたき福祉事業団

1-4-2-3 HIV感染症患者の長期療養支援の検討～薬害被害者の入院と連携状況について～

池田和子、西城淳美、服部久恵、
大金美和、塩田ひとみ、伊藤 紅、
小山美紀、木下真里、中家奈緒美、
照屋勝治、田沼順子、塚田訓久、
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

独立行政法人 国立国際医療研究センター病院

一般演題(口演)

■日時：11月20日(水) 14:00～14:40

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館6階ホール)

1-4-3 社会：薬物使用

座長 生島 嗣

(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

大木幸子

(杏林大学保健学部看護学科)

1-4-3-1 HIVと薬物依存との関連要因の検討：薬物使用者を対象にした聞き取り調査から

生島 嗣¹⁾、野坂祐子²⁾、大槻知子¹⁾、樽井正義^{1,3)}、白野倫徳⁴⁾、岡本 学⁵⁾、山口正純⁶⁾、中山雅博^{7,8)}、肥田明日香⁸⁾

- 1) ぶれいす東京
- 2) 大阪大学大学院
- 3) 慶應義塾大学
- 4) 大阪市立総合医療センター
- 5) 大阪医療センター
- 6) 白十字総合病院
- 7) 日本タルク
- 8) アパリ・クリニック上野

1-4-3-2 MSMにおける脱法ドラッグ使用がコンドーム使用に与える影響-インターネット調査より-

嶋根卓也¹⁾、日高庸晴²⁾

- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
- 2) 宝塚大学看護学部

1-4-3-3 エイズ拠点病院での精神保健及び薬物使用に関する相談対応の状況

大木幸子¹⁾、高城智圭¹⁾、生島 嗣²⁾、岡野江美³⁾、中澤よう子⁴⁾、野口雅美⁵⁾、古屋智子⁶⁾

- 1) 杏林大学保健学部看護学科
- 2) ぶれいす東京
- 3) 東京女子医大病院
- 4) 神奈川県保健福祉局保健医療部
- 5) 東京都多摩府中保健所
- 6) 川崎市多摩区保健福祉センター

1-4-3-4 薬物依存を抱えるアディクトの人生線及びその推移に関連する体験についての研究

富澤由子^{1,2)}、井上洋士¹⁾

- 1) 放送大学
- 2) 独立行政法人国立病院機構 西群馬病院

■日時：11月20日(水) 14:45～15:45

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館6階ホール)

1-4-4 社会：政策・医療体制-1

座長 伊藤俊広

(独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 感染症内科)

前田ひとみ

(熊本大学大学院生命科学研究部環境社会医学部門 看護学講座)

1-4-4-1 エイズ診療拠点病院HIV担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS看護に関する調査」結果から(その2)～看護ケア実践に関する課題と支援ニーズ～

東 政美¹⁾、羽柴知恵子²⁾、小山美紀³⁾、伊藤 紅³⁾、大野稔子⁴⁾、渡部恵子⁴⁾、伊藤ひとみ⁵⁾、川口 玲⁶⁾、高山次代⁷⁾、下司有加¹⁾、木下一枝⁸⁾、城崎真弓⁹⁾、大金美和³⁾、池田和子³⁾

- 1) NHO大阪医療センター
- 2) NHO名古屋医療センター
- 3) 国立国際医療研究センター病院
- 4) 北海道大学病院
- 5) NHO仙台医療センター
- 6) 新潟大学医歯学総合病院
- 7) 石川県立中央病院
- 8) 広島大学病院
- 9) NHO九州医療センター

1-4-4-2 エイズ診療拠点病院HIV担当看護師に対する支援の検討「HIV/AIDS看護に関する調査」結果から(その1)～診療報酬の算定と看護ケア実践に関する現状と課題～

羽柴知恵子¹⁾、東 政美²⁾、小山美紀³⁾、伊藤 紅³⁾、大野稔子⁴⁾、渡部恵子⁴⁾、伊藤ひとみ⁵⁾、川口 玲⁶⁾、高山次代⁷⁾、下司有加²⁾、木下一枝⁸⁾、城崎真弓⁹⁾、大金美和³⁾、池田和子³⁾

- 1) NHO名古屋医療センター
- 2) NHO大阪医療センター
- 3) 国立国際医療研究センター病院
- 4) 北海道大学病院
- 5) NHO仙台医療センター
- 6) 新潟大学医歯学総合病院
- 7) 石川県立中央病院
- 8) 広島大学病院
- 9) NHO九州医療センター

1-4-4-3 災害時に対応した抗HIV薬供給と服薬支援策の検討-第2報-～震災・被災HIV患者アンケート調査から考える未来への備え～

佐藤麻希¹⁾、山本善彦^{2,3)}、阿部憲介¹⁾、水沼周市¹⁾、小山田光孝¹⁾、伊藤俊広²⁾

- 1) 国立病院機構仙台医療センター薬剤科
- 2) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科
- 3) 医薬品医療機器総合機構新薬審査第四部

一般演題(口演)

1-4-4-4 (独) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターにおける外国人患者の療養状況

木下真里、池田和子、塩田ひとみ、
小山美紀、伊藤 紅、杉野祐子、
大金美和、塚田訓久、田沼順子、
照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、
岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

1-4-4-5 診療所における HIV 感染症診療の試みー第6報

根岸昌功¹⁾、南宮 湖^{1,2)}、荒井祐貴子¹⁾、
織田幸子¹⁾、西岡春菜¹⁾、木村リエ¹⁾

1) ねぎし内科診療所
2) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科

1-4-4-6 首都圏近郊に位置するエイズ治療拠点病院に求められる役割

松永伸一¹⁾、土谷良樹¹⁾、武田悟秋¹⁾、
勝股祐美²⁾、藤井基博³⁾、井川千恵子⁵⁾、
八田加奈子³⁾、柳田月美⁴⁾

1) 東葛病院総合診療科
2) わかば薬局
3) 東葛病院薬剤部
4) 東葛病院相談室
5) 東葛病院付属診療所看護部

■日時：11月20日(水) 9:30～10:20

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

1-5-1 臨床：HAND-1

座長 健山正男

(琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学)

仲倉高広

(国立病院機構大阪医療センター 臨床心理室)

1-5-1-1 HIV患者の認知機能に関する因子の解析ーその1ー

辻麻理子¹⁾、郭 悠¹⁾、阪木淳子^{1,2)}、
曾我真千恵^{1,3)}、城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、
高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、南 留美¹⁾、
山本政弘¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV総合治療センター
2) (公財)エイズ予防財団
3) 福岡県保健医療介護部

1-5-1-2 HIV患者の認知機能障害に関する因子の解析ーその2 抑うつの影響ー

辻麻理子¹⁾、郭 悠¹⁾、阪木淳子^{1,2)}、
曾我真千恵^{1,3)}、城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、
高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、南 留美¹⁾、
山本政弘¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV総合治療センター
2) (公財)エイズ予防財団
3) 福岡県保健医療介護部

1-5-1-3 HIV患者の認知機能に関する因子の解析ーその3 薬物濫用の影響ー

郭 悠、阪木淳子、辻麻理子、
曾我真千恵、城崎真弓、長與由紀子、
高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、
山本政弘

NHO九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター

1-5-1-4 HIV感染症に関連する神経心理学的検査結果とCD4値、ウイルス量との関連

鍛治まどか^{1,2)}、仲倉高広¹⁾、宮本哲雄^{1,2)}、
安尾利彦¹⁾、森田真子¹⁾、大谷ありさ¹⁾、
藤本恵里¹⁾、西川歩美^{1,3)}、下司有加¹⁾、
東 政美¹⁾、鈴木成子¹⁾、池上幸恵¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団
3) ネットワーク医療と人権

1-5-1-5 神経心理検査のフォローアップが行われたHIV感染者の検討

森岡 悠^{1,2)}、関谷紀貴³⁾、柳澤如樹¹⁾、
菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、岸田修二⁴⁾、
味澤 篤¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
2) 名古屋大学医学部附属病院 中央感染制御部
3) がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査科
4) 初石病院 神経内科

■日時：11月20日(水) 10:25～11:35

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

1-5-2 臨床：HAND-2

座長 高田清式

(愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター)

山本政弘

(国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科)

1-5-2-1 末梢血と髄液のHIV指向性を検討した1例

仲村秀太、健山正男、田里大輔、
翁長 薫、前田サオリ、宮城京子、
原永修作、比嘉 太、藤田次郎

琉球大学大学院医学研究科
感染症 呼吸器 消化器内科学

一般演題(口演)

1-5-2-2 ART導入後の認知機能障害の評価

翁長 薫¹⁾、健山正男¹⁾、富永大介²⁾、
仲里 愛⁴⁾、仲村秀太¹⁾、宮城京子³⁾、
前田サオリ³⁾、新江裕貴¹⁾、比嘉 太¹⁾、
藤田次郎¹⁾

1) 琉球大学大学院医学研究科
感染症・呼吸器・消化器内科学講座
2) 琉球大学大学院教育学部
3) 琉球大学医学部附属病院看護部
4) (独) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

1-5-2-3 Darunavir (DRV) 増量を含むレジメン変更が髄液・血中 HIV-RNA 量の低下と認知機能改善に寄与した一例

柳沢邦雄¹⁾、小川孔幸¹⁾、林 俊誠¹⁾、
馬渡桃子²⁾、合田 史³⁾、内海英貴⁴⁾、
永野大輔⁵⁾、荒木拓也⁵⁾、山本康次郎⁵⁾、
石崎芳美⁶⁾、野島美久¹⁾

1) 群馬大学大学院医学系研究科 生体統御内科学/
群馬大学医学部附属病院 血液内科
2) 国立病院機構 西群馬病院 血液内科
3) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科
4) 医療法人社団日高会 白根クリニック
5) 群馬大学大学院医学系研究科 臨床薬理学/
群馬大学医学部附属病院 薬剤部
6) 群馬大学医学部附属病院 看護部

1-5-2-4 CPEの高いARTレジメンにより著明に症状が改善したHANDの一例

田村久美、保科斉生、保阪由美子、
加藤哲朗、佐藤文哉、堀野哲也、
吉田正樹、堀 誠治

東京慈恵会医科大学附属病院感染制御部

1-5-2-5 ART経過中にHANDを発症し、ART変更で良好な経過が得られた一例

安藤常浩、守屋敦子

日本赤十字社医療センター感染症科

1-5-2-6 チーム医療と社会支援により HIV 関連神経認知障害 (HAND) が改善した 1 症例

塚田真弓¹⁾、吉澤定子^{1,2)}、宮崎泰斗^{1,3)}、
前田 正³⁾、松井真代⁴⁾、長谷川香菜子⁴⁾、
松本幸則⁵⁾、田村清美^{1,4)}、館田一博^{1,6)}、
瓜田純久³⁾

1) 東邦大学医療センター大森病院 感染管理部
2) 総合診療・急病センター (感染症科)
3) 総合診療・急病センター (内科)
4) 看護部
5) 地域支援センター
6) 東邦大学医学部 微生物・感染症学講座

1-5-2-7 HANDが疑われた患者に神経心理学検査を活用した一事例 —心理臨床家としての役割—

緒方 釈¹⁾、宮川寿一¹⁾、木村亜由美¹⁾、
田上直美¹⁾、中田浩智¹⁾、松下修三²⁾、
満屋裕明¹⁾

1) 熊本大学医学部附属病院感染免疫診療部
2) 熊本大学エイズ学研究センター

■日時：11月20日(水) 14:00～15:10

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

1-5-3 臨床：抗HIV療法-2

座長 塚田訓久

(国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター)

日笠 聡

(兵庫医科大学内科学(血液内科))

1-5-3-1 当センターにおける初回抗HIV療法の動向

塚田訓久、水島大輔、西島 健、
青木孝弘、木内 英、渡辺恒二、
本田元人、矢崎博久、田沼順子、
瀧永博之、照屋勝治、菊池 嘉、
岡 慎一

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

1-5-3-2 当院における Rilpivirine の使用成績

吉野宗宏¹⁾、矢倉裕輝¹⁾、櫛田宏幸¹⁾、
廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、小川吉彦²⁾、
矢嶋敬史郎²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、
上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
薬剤科
2) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
感染症内科

1-5-3-3 初回治療における1日1回投与Darunavirの治療成績:48週データ

西島 健、照屋勝治、塚田訓久、
杉原 淳、柳川泰昭、的野多加志、
石金正裕、山元 佳、水島大輔、
青木孝弘、渡辺恒二、木内 英、
本田元人、矢崎博久、田沼順子、
瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

1-5-3-4 急性 HIV 感染症 13 症例の検討

河合 伸¹⁾、佐野彰彦¹⁾、佐野麻里子²⁾、
寺澤典子²⁾

1) 杏林大学医学部総合医療学教室感染症科
2) 杏林大学医学部附属病院看護部

一般演題(口演)

1-5-3-5 Key drug に maraviroc と darunavir を併用した症例と darunavir のみの使用例の投与開始後 12 ヶ月間の治療効果の比較

古賀一郎、妹尾和憲、吉野友祐、北沢貴利、太田康男
帝京大学医学部

1-5-3-6 Maraviroc 追加投与を行った immunological non-responder 症例における Tリンパ球の免疫学的変化の検討

藤本勝也¹⁾、吉田美穂¹⁾、竹村 龍¹⁾、白鳥聡一¹⁾、杉田純一¹⁾、重松明男¹⁾、橋本大吾¹⁾、遠藤知之¹⁾、近藤 健¹⁾、橋野 聡²⁾、豊嶋崇徳¹⁾
1) 北海道大学病院血液内科
2) 北海道大学保健センター

1-5-3-7 進行性多巣性白質脳症に対するマラビロク追加およびアバカビル・ラミブジン配合錠への cART 変更により進行抑制が示唆された AIDS 患者の 1 例

富島公介¹⁾、水守康之²⁾、保崎有紀¹⁾、川戸順之¹⁾、田中三晶¹⁾、勝田倫子²⁾、望月吉郎²⁾
1) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター薬剤科
2) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター呼吸器内科

■日時：11月20日(水) 15:15～16:05

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

1-5-4 臨床：副作用

座長 畝井浩子

(広島大学病院薬剤部)

西島 健

(国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センター)

1-5-4-1 ツルバダ®からエプジコム®へ薬剤変更を行った HIV 感染者の腎障害に関する検討

中野知沙子¹⁾、矢嶋敬史郎²⁾、島 陽子¹⁾、森影直子¹⁾、藤村龍太¹⁾、倭 成史¹⁾、和田 晃¹⁾、廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、小川吉彦²⁾、大寺 博²⁾、渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾、伊藤孝仁¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター腎臓内科
2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科

1-5-4-2 TDF/FTC から ABC/3TC へ変更後の腎機能回復と脂質代謝推移の検討

新江裕貴^{1,2)}、健山正男¹⁾、比嘉 太¹⁾、仲村秀太¹⁾、諸見牧子²⁾、宮城京子³⁾、前田サオリ³⁾、翁長 薫¹⁾、外間惟夫²⁾、藤田次郎¹⁾

1) 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学
2) 琉球大学医学部附属病院薬剤部
3) 琉球大学医学部附属病院看護部

1-5-4-3 ツルバダ配合錠中断症例の検討

五十嵐俊¹⁾、吉村 歩¹⁾、中拂一彦²⁾、八板謙一郎²⁾、吉村幸浩²⁾、高尾良洋¹⁾、立川夏夫²⁾

1) 横浜市立市民病院 薬剤部
2) 横浜市立市民病院 感染症内科

1-5-4-4 Atazanavir が被疑薬と考えられる遷延性血清クレアチニン上昇の 1 例

森 尚義¹⁾、前田 光²⁾、谷口晴記³⁾

1) 三重県立総合医療センター薬剤部
2) 三重県立総合医療センター呼吸器内科
3) 三重県立総合医療センター産婦人科

1-5-4-5 抗 HIV 療法における低毒性長期暴露時の骨副作用モニター ―当院マラビロク治療症例の場合―

叶谷文秀¹⁾、石坂美知代^{1,2)}、瀧永博之¹⁾、山本健二³⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団
3) 国立国際医療研究センター研究所

■日時：11月20日(水) 16:10～17:10

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

1-5-5 社会：政策・医療体制-2

座長 根岸昌功

(ねぎし内科診療所)

羽柴知恵子

(NHO名古屋医療センター エイズ治療開発センター)

1-5-5-1 関東・関西2薬局の抗 HIV 院外処方箋応需状況について

迫田直樹¹⁾、土田純子^{2,3)}、市原紗千子⁴⁾、中村美紀⁴⁾、赤野威彦⁵⁾、堅田陽介⁵⁾

1) 法円坂薬局
2) 戸山薬局
3) ワカマツ薬局
4) 谷町センター薬局
5) 法円坂メディカル株式会社

一般演題(口演)

1-5-5-2 北海道における「HIV/AIDS出張研修」の効果の検討—研修前後のアンケート調査結果から—

渡部恵子¹⁾、センチノ田村恵子^{2,3)}、遠藤知之⁴⁾、坂本玲子^{2,3)}、江端あい²⁾、藤本勝也⁴⁾、富田健一²⁾、植田孝介⁵⁾、武内阿味^{2,3)}、大川満生²⁾、成田月子¹⁾、大野稔子¹⁾、原田幸子⁵⁾、豊嶋崇徳⁴⁾、岡林靖子¹⁾

- 1) 北海道大学病院看護部
- 2) 北海道大学病院相談室
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団
- 4) 北海道大学病院血液内科
- 5) 北海道大学病院薬剤部

1-5-5-3 道東(東北海道)のエイズ中核拠点病院の現状

高橋道生¹⁾、小川洋司¹⁾、金森美香³⁾、宮城島拓人²⁾

- 1) 独立行政法人 労働者健康福祉機構 釧路労災病院 薬剤部
- 2) 独立行政法人 労働者健康福祉機構 釧路労災病院 内科
- 3) 独立行政法人 労働者健康福祉機構 釧路労災病院 看護部

1-5-5-4 20年にわたる長野県のHIV感染症実態調査の結果とこれからの課題

斉藤 博¹⁾、北野喜良²⁾、塚平晃弘³⁾、本田孝行⁴⁾、岡田邦彦⁵⁾、小林良清⁶⁾、菅沼哲夫⁷⁾

- 1) 地方独立法人長野県立病院機構長野県立須坂病院
- 2) 国立病院機構松本医療センター
- 3) 飯田市立病院
- 4) 信州大学医学部附属病院臨床検査部
- 5) JA長野厚生連佐久総合病院
- 6) 長野県健康福祉部健康長寿課
- 7) 長野県医師会

1-5-5-5 石川県内における職業上血液曝露によるHIV感染予防の緊急対応

下川千賀子¹⁾、安田明子¹⁾、林 志穂¹⁾、柏原宏暢¹⁾、辻 典子²⁾、山田三枝子²⁾、上田幹夫¹⁾

- 1) 石川県立中央病院
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

■日時：11月20日(水) 9:30～10:50

■会場：第6会場(熊本市国際交流会館5階 大広間A+B)

1-6-1 社会：MSM

座長 金子典代

(名古屋市立大学看護学部国際保健看護学)

井戸田一朗

(しらかば診療所)

1-6-1-1 MSM向けHIV検査普及プログラム「クリニック検査1000円キャンペーン」広報についての考察

町登志雄^{1,2)}、後藤大輔^{1,2)}、鬼塚哲郎^{1,3)}、川畑拓也⁴⁾、岳中美江⁵⁾、塩野徳史⁶⁾、市川誠一⁶⁾

- 1) MASH大阪
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 京都産業大学文化学部
- 4) 大阪府立公衆衛生研究所
- 5) 特定非営利活動CHARM
- 6) 名古屋市立大学看護学部国際保健看護学

1-6-1-2 ハッテン場におけるHIV感染リスク低減に向けた意識行動調査

井戸田一朗^{1,2)}、星野慎二¹⁾、佐野貴子³⁾、近藤真規子³⁾、金子典代⁴⁾

- 1) 特定非営利活動法人SHIP
- 2) しらかば診療所
- 3) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 4) 名古屋市立大学看護学部

1-6-1-3 MSM商業施設の訪問経験がない若年層を対象にした行政・教育・医療連携による多目的支援施設のあり方の検討

星野慎二¹⁾、井戸田一朗^{1,2)}、日高庸晴^{1,3)}、加藤真吾⁴⁾、白阪琢磨⁵⁾

- 1) 特定非営利活動法人SHIP
- 2) しらかば診療所
- 3) 宝塚大学看護学部
- 4) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

1-6-1-4 東北地域のMSMを対象としたHIV抗体検査の受検促進のための取り組み

太田 貴^{1,2)}、高橋幸二^{1,3)}、伊藤俊広⁴⁾、塩野徳史⁵⁾

- 1) やろっこ
- 2) 東北HIVコミュニケーションズ
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団
- 4) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
- 5) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

一般演題(口演)

1-6-1-5 MSM向けエイズ対策としてのコミュニティセンターの意義と妥当性の検討

牧園祐也^{1,2)}、荒木順子^{2,3)}、石田敏彦⁴⁾、
太田 貴⁵⁾、金城 健^{2,6)}、後藤大輔^{2,7)}、
伊藤俊広⁸⁾、内海 眞⁹⁾、鬼塚哲郎¹⁰⁾、
山本政弘¹¹⁾、健山正男¹²⁾、塩野徳史¹³⁾、
金子典代¹³⁾、市川誠一¹³⁾

- 1) Love Act Fukuoka
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 特定非営利活動法人 akta
- 4) Angel Life Nagoya
- 5) やろっこ
- 6) nankr 沖繩
- 7) MASH 大阪
- 8) 仙台医療センター
- 9) 東名古屋病院
- 10) 京都産業大学
- 11) 九州医療センター
- 12) 琉球大学
- 13) 名古屋市立大学

1-6-1-6 エイズ時代における同性愛者向けの相談体制の構築に向けて

嶋田憲司¹⁾、藤部荒術¹⁾、河口和也^{1,2)}、
高嶋能文³⁾、飯塚信吾¹⁾、太田昌二¹⁾、
新美 広¹⁾

- 1) 特定非営利活動法人 動くゲイとレスビアンの会 (アカー)
- 2) 広島修道大学
- 3) 医療法人社団めぐみ会 自由が丘メディカルプラザ2 小児科

1-6-1-7 MSM向けインターネット横断調査に続く追跡パネル調査法の妥当性の検討

金子典代¹⁾、塩野徳史¹⁾、健山正男²⁾、
山本政弘³⁾、鬼塚哲郎⁴⁾、内海 眞⁵⁾、
伊藤俊弘⁶⁾、岩橋恒太¹⁾、市川誠一¹⁾

- 1) 名古屋市立大学看護学部国際保健看護学
- 2) 琉球大学大学院医学研究科
- 3) 国立病院機構九州医療センター
- 4) MASH 大阪
- 5) 国立病院機構東名古屋病院
- 6) 国立病院機構 仙台医療センター

1-6-1-8 コミュニティセンター akta を基点とした MSM 向け性風俗店との連携を通じた予防行動促進キャンペーンの構成

佐久間久弘^{1,2)}、荒木順子^{1,2)}、岩橋恒太^{1,3)}、
柴田 恵¹⁾、大島 岳^{1,2)}、木南拓也^{1,2)}、
阿部甚兵¹⁾、金子典代³⁾、塩野徳史³⁾、
市川誠一³⁾

- 1) 特定非営利活動法人 akta
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 名古屋市立大学大学院看護学研究科国際保健看護学

■日時：11月20日(水) 10:55～11:45

■会場：第6会場(熊本市国際交流会館5階 大広間A+B)

1-6-2 社会：陽性者支援

座長 井上洋士

(放送大学慢性看護学、健康社会学分野)

岳中美江

(特定非営利活動法人 CHARM)

1-6-2-1 新陽性者 PEER Group Meeting (PGM) における医療情報セッションを担当して

福原寿弥、加藤力也、矢島 崇、
生島 嗣、池上千寿子

特定非営利活動法人 ぶれいす東京

1-6-2-2 HIV Futures Japan プロジェクトの「HIV 陽性者のためのウェブ調査」におけるウェブ上の工夫

板垣貴志¹⁾、井上洋士²⁾、戸ヶ里泰典²⁾、
高久陽介^{3,4)}、矢島 嵩^{3,5)}、阿部桜子⁶⁾、
細川陸也⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、
若林チヒロ¹⁰⁾

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) NTT docomo
- 7) 京都大学大学院
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学

1-6-2-3 「Futures Japan」 HIV 陽性者を対象とした調査における当事者参画の意義と効果に関する考察

高久陽介^{1,10)}、井上洋士²⁾、矢島 嵩^{1,3)}、
戸ヶ里泰典²⁾、板垣貴志⁴⁾、細川陸也⁵⁾、
阿部桜子⁶⁾、吉澤繁行⁷⁾、若林チヒロ⁸⁾、
大木幸子⁹⁾

- 1) 特定非営利活動法人 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 2) 放送大学
- 3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 4) 株式会社アクセライト
- 5) 京都大学大学院
- 6) NTT docomo
- 7) ANGEL LIFE NAGOYA
- 8) 埼玉県立大学
- 9) 杏林大学
- 10) 公益財団法人エイズ予防財団

一般演題(口演)

1-6-2-4 地域相談機関におけるHIV陽性者へのサービス提供における課題について—東京都と大阪府での検討

大塚理加¹⁾、生島 嗣²⁾、大槻知子²⁾、岡本 学³⁾、樽井正義^{2,4)}

- 1) 独立行政法人国立長寿医療研究センター在宅連携医療部
- 2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- 4) 慶應義塾大学

1-6-2-5 HIV陽性者のライフプランニング支援のニーズと実際

永易至文

特定非営利活動法人パープル・ハンズ

1-6-3-4 非MACの非定型抗酸菌感染による免疫再構築症候群(IRIS)で治療に難渋した2症例

中田浩智、宮川寿一、満屋裕明

熊本大学医学部附属病院 血液内科・感染免疫診療部

1-6-3-5 当院のHIV感染者における免疫再構築症候群の現状

光本富士子^{1,2)}、村田昌之^{1,2)}、志水元洋¹⁾、迎 はる¹⁾、豊田一弘¹⁾、小川栄一¹⁾、貝沼茂三郎¹⁾、岡田享子¹⁾、古庄憲浩^{1,2)}、林 純³⁾

- 1) 九州大学病院 総合診療科
- 2) 九州大学大学院 感染制御医学分野
- 3) 原土井病院 九州総合診療センター

■日時：11月20日(水) 14:00～14:50

■会場：第6会場(熊本市国際交流会館5階 大広間A+B)

■日時：11月20日(水) 14:55～15:45

■会場：第6会場(熊本市国際交流会館5階 大広間A+B)

1-6-3 臨床：免疫再構築症候群

座長 西田恭治

(国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター)

中田浩智

(熊本大学医学部附属病院感染免疫診療部)

1-6-4 臨床：臨床薬理

座長 吉野宗宏

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター薬剤科)

田上直美

(熊本大学医学部附属病院薬剤部)

1-6-3-1 ニューモシスチス肺炎の治療判定におけるガリウムシンチの有用性の検討

高濱宗一郎¹⁾、郭 悠¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、南 留美¹⁾、喜安純一²⁾、長与由紀子³⁾、城崎真弓³⁾、山本政弘¹⁾

- 1) 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症科
- 2) 九州大学大学院 病態制御内科学
- 3) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

1-6-3-2 PMLの1例における高次脳機能障害の経時変化

内山良則¹⁾、白野倫徳²⁾、後藤哲志²⁾、金田浩治¹⁾、吉村政樹³⁾、神吉理枝⁴⁾

- 1) 大阪市立総合医療センターリハビリテーション科
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症センター
- 3) 大阪市立総合医療センター脳神経外科
- 4) 大阪市立総合医療センター神経内科

1-6-3-3 抗HIV療法開始後に甲状腺機能亢進症を呈した13例の検討

矢嶋敬史郎、伊熊素子、廣田和之、小川吉彦、笠井大介、渡邊 大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

1-6-4-1 スタリビルド®配合錠の日本人健康成人男性志願者を対象とした薬物動態試験

石川智弘¹⁾、池田篤史¹⁾、西野範昭¹⁾、松木俊二²⁾、入江 伸²⁾

- 1) 日本たばこ産業株式会社 医薬事業部 臨床開発部
- 2) 医療法人相生会 九州臨床薬理クリニック

1-6-4-2 日本人HIV患者におけるダルナビル血中濃度の検討

大木桜子¹⁾、土屋亮人²⁾、林田庸総²⁾、酒井真依¹⁾、増田純一¹⁾、千田昌之¹⁾、瀧永博之²⁾、水野宏一¹⁾、菊池 嘉²⁾、和泉啓司郎¹⁾、岡 慎一²⁾

- 1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

1-6-4-3 HIV感染者におけるステロイド吸入および全身投与の影響

中嶋恵理子、郭 悠、高濱宗一郎、南 留美、長与由紀子、城崎真弓、山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

一般演題(口演)

1-6-4-4 抗HIV薬の簡易懸濁法適用に関する検討 第3報

矢倉裕輝¹⁾、吉野宗宏¹⁾、櫛田宏幸¹⁾、
廣田和之²⁾、伊熊素子²⁾、小川吉彦²⁾、
大寺博²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、渡邊大²⁾、
西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨²⁾

1) (独) 国立病院機構大阪医療センター 薬剤科
2) (独) 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

1-6-4-5 抗HIV薬の唾液中薬剤濃度の検討

山田瑛子¹⁾、高木律男¹⁾、田邊嘉也²⁾、
永井孝宏¹⁾、村山正晃¹⁾、池野良¹⁾、
児玉泰光¹⁾、親泊あいみ³⁾、須藤弘二³⁾、
戸蒔祐子⁴⁾、藤原宏⁴⁾、長谷川直樹⁴⁾、
岩田敏^{4,5)}、加藤真吾³⁾

1) 新潟大学歯学部顎顔面口腔外科学分野
2) 新潟大学歯学部総合病院感染管理部
3) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
4) 慶應義塾大学病院感染制御センター
5) 慶應義塾大学医学部感染症学教室

■日時：11月20日(水) 9:30～10:20

■会場：第7会場(熊本市国際交流会館
地下2階 多目的ホール)

1-7-1 基礎：アクセサリ遺伝子

座長 藤田美歌子

(熊本大学薬学部附属創薬研究センター)

朝光かおり

(名古屋市立大学大学院医学研究科 細胞分子生物学分野)

1-7-1-1 SAMHD1-independent function of HIV-2 Vpx protein

チッフチ ハリルイブラヒム¹⁾、古賀涼子¹⁾、
岩谷靖雅²⁾、野間口雅子³⁾、足立昭夫³⁾、
大塚雅巳¹⁾、藤田美歌子⁴⁾

1) 熊本大学大学院生命科学部
生体機能分子合成学分野
2) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
3) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
微生物病原学分野
4) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

1-7-1-2 Vprによる細胞周期G2期停止誘導能を制 御する新規宿主因子HIP1の同定と解析

村上知行^{1,2)}、間陽子^{1,2)}

1) 理化学研究所分子ウイルス学特別研究ユニット
2) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
感染制御分子機能解析分野

1-7-1-3 Differential modulation of Nef-mediated downregulation activity of HLA-A and B in HIV-1 chronic infection

Macdonald Mahiti¹⁾、Philip Mwimanzi^{1,2)}、
緒方陽子¹⁾、Bruce Walker³⁾、
Zabrina Brumme²⁾、Mark Brockman²⁾、
上野貴将¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センター
2) Simon Fraser University, Canada
3) Ragon Institute of MGH, MIT and Harvard University

1-7-1-4 HIV-1感染者由来のNefを用いた機能ドメ インの解析

豊田真子¹⁾、Philip Mwimanzi^{1,2)}、
Tristan Markle²⁾、緒方陽子¹⁾、
Macdonald Mahiti¹⁾、Zabrina Brumme²⁾、
Mark Brockman²⁾、上野貴将¹⁾

1) 熊本大学エイズ学研究センター
2) Simon Fraser University, Canada

1-7-1-5 分子動力学を用いたHIV転写活性化複合 体の相互作用の解析

朝光かおり¹⁾、広川貴次²⁾、日比悠里名¹⁾、
岡本尚¹⁾

1) 名古屋市立大学大学院医学研究科
2) 産業技術総合研究所生命情報科学研究センター

■日時：11月20日(水) 10:25～11:35

■会場：第7会場(熊本市国際交流会館
地下2階 多目的ホール)

1-7-2 基礎：複製、病原性

座長 櫻木淳一

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

鈴木伸也

(熊本大学エイズ学研究センター)

1-7-2-1 Deep sequencingを用いたX4ウイルスの 出現およびその後の進化の解析

林田庸総、土屋亮人、瀧永博之、
岡慎一

独立行政法人 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター

1-7-2-2 HIV-1逆転写反応の試験管内再構築に向け た各種因子の検討評価

佐藤洋子¹⁾、高畑辰郎¹⁾、鈴木萌華¹⁾、
河合剛太²⁾、長谷川温彦¹⁾、神奈木真理¹⁾、
増田貴夫¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院歯学部総合研究科
免疫治療学分野
2) 千葉工業大学工学部生命環境科学科

一般演題(口演)

1-7-2-3 プロモーター領域を標的としたshRNAによるマクロファージからT細胞へのHIV-1の感染抑制

鈴木一雄、Cooper David、Kellerher Anthony

St Vincent's Centre for Applied Medical Research

1-7-2-4 ガーナ産植物由来成分による潜伏HIV-1プロウイルス再活性化とサイトカイン産生誘導の解析

堀 恭徳¹⁾、Nursarat Ahmed¹⁾、Tunguyen Huu²⁾、宇都拓洋²⁾、森永 紀²⁾、吉仲由之¹⁾、神奈木真理¹⁾、正山征洋²⁾、山岡昇司¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
2) 長崎国際大学薬学部

1-7-2-5 Effects of naturally occurring polymorphisms in functional domains of HIV-1 Nef on in vivo disease progression

Meribe Stanley¹⁾、Zafrul Hasan¹⁾、Hiroyuki Gatanaga²⁾、Toshiyuki Miura^{3,4,5)}、Ai Kawana-Tachikawa³⁾、Aikichi Iwamoto³⁾、Shinichi Oka²⁾、Takamasa Ueno¹⁾

1) Center for AIDS Research, Kumamoto University
2) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine
3) Institute of Medical Science, University of Tokyo
4) Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University
5) Medical Affairs Department, ViiV Healthcare K.K.

1-7-2-6 M-CSFは種々の抗HIV-1サイトカインの作用に拮抗する

Abu Osman、橋本倫拓、Farzana Bhuyan、Hesham Nasser、鈴 伸也

熊本大学エイズ学研究センター

1-7-2-7 HIVサブタイプ比較によるゲノムパッケージングに関する解析

櫻木淳一、櫻木小百合、塩田達雄

大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

■日時：11月20日(水) 14:00～14:50

■会場：第7会場(熊本市国際交流会館 地下2階 多目的ホール)

1-7-3 基礎：宿主因子-1

座長 佐藤 佳

(京都大学ウイルス研究所)

武内寛明

(東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学)

1-7-3-1 HIV-1感染ヒト化マウスモデルを用いたAPOBEC3G/Fの機能解析

竹内(柴田)潤子¹⁾、佐藤 佳¹⁾、三沢尚子¹⁾、泉 泰輔²⁾、小林朋子¹⁾、木村雄一¹⁾、岩見真吾³⁾、高折晃史⁴⁾、Hu Wei-Shau²⁾、合原一幸⁵⁾、伊藤 守⁶⁾、An Dong Sung⁷⁾、Pathak Vinay K²⁾、小柳義夫¹⁾

1) 京都大学ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域
2) NCI-Frederick
3) 九州大学 理学研究院
4) 京都大学大学院医学研究科 血液腫瘍内科学
5) 東京大学 生産技術研究所
6) 実験動物中央研究所
7) UCLA

1-7-3-2 HIV感染経路における宿主因子GANPの役割

前田和彦¹⁾、Almofty Sarah Ameen¹⁾、Singh Shailendra Kumar¹⁾、Eid Mohammed Mansour Abbas¹⁾、下田真唯子¹⁾、川畑輝哉¹⁾、池田輝政²⁾、小糸 厚²⁾、阪口薫雄¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部免疫学分野
2) 熊本大学大学院生命科学研究部感染制御学

1-7-3-3 HIV-1潜伏感染細胞におけるHIV-1抑制因子Murr1の役割

田浦 学、工藤恵理子、後藤裕樹、岡田誠治

熊本大学エイズ学研究センター

1-7-3-4 慢性感染細胞におけるGalectin-3のHIV-1発現への影響

岡本実佳、日高朱美、外山政明、馬場昌範

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター

1-7-3-5 機能遺伝子発現抑制T細胞ライブラリーから同定した新規HIV感染必須因子の解析

武内寛明、山岡昇司

東京医科歯科大学医歯学総合研究科ウイルス制御学

一般演題(口演)

■日時：11月20日(水) 14:55～15:45

■会場：第7会場(熊本市国際交流会館B2階
他目的ホール)

1-7-4 社会：ソーシャルワーク

座長 藤平輝明

(東京医科大学病院総合相談・支援センター)

岡本 学

(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
地域医療連携室)

1-7-4-1 当院における外国人HIV患者に対するMSW支援の一考察

木村絵梨奈¹⁾、篠原純史¹⁾、合田 史²⁾、
佐藤正通^{1,2)}

1) 独立行政法人 国立病院機構
高崎総合医療センター 地域医療支援・連携センター
2) 独立行政法人 国立病院機構
高崎総合医療センター 総合診療科

1-7-4-2 愛媛大学医学部附属病院におけるMSW介入事例の現状と課題の一考察

小野恵子¹⁾、橋本一晃¹⁾、藤原光子⁴⁾、
井門敬子³⁾、中尾 綾⁵⁾、高田清式²⁾

1) 愛媛大学医学部附属病院
総合診療サポートセンター
2) 愛媛大学医学部附属病院
総合臨床研修センター・感染症内科
3) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
4) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
5) 愛媛大学医学部附属病院 感染症内科

1-7-4-3 HIV陽性者の生命保険利用に関する意識調査

伊賀陽子

兵庫医科大学病院

1-7-4-4 高齢の母親と生活する強迫性障害HIV感染者への療養支援からみた課題

永見芳子^{1,2)}、杉本香織¹⁾、羽柴知恵子¹⁾、
松岡亜由子¹⁾、杉浦 互¹⁾、田中千枝子³⁾、
横幕能行¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
3) 日本福祉大学社会福祉学部

1-7-4-5 当科における長期療養を要する患者の検討

黒田美和¹⁾、平島園子¹⁾、伊澤麻未²⁾、
岡本 学¹⁾、下司有加¹⁾、上平朝子¹⁾、
白阪琢磨¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
2) 財団法人エイズ予防財団

■日時：11月21日(木) 9:00～9:50

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール
2階 大会議室)

2-2-1 基礎：宿主因子-2

座長 三隅将吾

(熊本大学大学院生命科学研究部薬学生化学分野)

岩谷靖雅

(国立病院機構名古屋医療センター)

2-2-1-1 APOBEC3FC末端側ドメインの構造解析とHIV-1 Vif結合インターフェイス

中島雅晶^{1,2)}、北村紳悟^{1,2)}、黒澤哲平^{1,2)}、
大出裕高¹⁾、河村高志⁴⁾、今橋真弓^{1,3)}、
長縄由里子¹⁾、真野由有^{1,2)}、横幕能行¹⁾、
渡邊信久^{2,4)}、杉浦 互^{1,3)}、岩谷靖雅^{1,3)}

1) (独)国立病院機構 名古屋医療センター
臨床研究センター
2) 名古屋大学 大学院工学研究科
3) 名古屋大学 大学院医学系研究科
4) 名古屋大学 シンクロトロン光研究センター

2-2-1-2 プロテオミクス法により同定した新規Vpr結合因子PRMT5/7によるウイルス複製制御機構

村上裕信¹⁾、萩原恭二¹⁾、鈴木健裕²⁾、
堂前 直²⁾、間 陽子¹⁾

1) 理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット
2) 理化学研究所 グローバル研究クラスター

2-2-1-3 HIV-1複製に關与するDNA修復系宿主因子の探索

吉永則良¹⁾、松井佑亮¹⁾、新堂啓祐¹⁾、
武田俊一²⁾、高折晃史¹⁾

1) 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科
2) 京都大学大学院医学研究科 放射線遺伝学

2-2-1-4 Identification of a novel E3 ubiquitin ligase modulating the activity of HIV-1 preintegration complex using a newly developed protein screening system

Tan Beng Hui¹⁾、鈴木康嗣¹⁾、高橋宏隆²⁾、
高橋千佳子²⁾、Han Qi'En¹⁾、澤崎達也²⁾、
山本直樹¹⁾、鈴木陽一¹⁾

1) National University of Singapore, Department of Microbiology
2) 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター

2-2-1-5 HIV-1 Gag プロセッシング最終産物p2 peptideの電子伝達系を利用した感染戦略

竹元雄輝、小川実菜子、角真太郎、
井上大奨、高宗暢暁、杉本幸彦、
庄司省三、三隅将吾

熊本大・薬

一般演題(口演)

■日時：11月21日(木) 9:55～10:45

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール
2階 大会議室)

2-2-2 基礎：薬剤耐性(基礎)

座長 吉村和久

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

児玉栄一

(東北大学医学部みやぎ地域医療支援寄付講座)

2-2-2-1 バルクおよびクローンウイルスを用いた
CD4類似低分子化合物誘導体に対する in
vitro 耐性ウイルス誘導

原田恵嘉¹⁾、鳴海哲夫³⁾、
Samatchaya Boonchawalit^{1,2)}、玉村啓和³⁾、
松下修三²⁾、吉村和久^{1,2)}

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) 熊本大学 エイズ学研究センター
3) 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所
生体機能分子研究部門

2-2-2-2 Analysis of relationships between
Maraviroc (MVC) resistant mutations
and sensitivity to antibody-mediated
neutralization

Samatchaya Boonchawalit¹⁾、原田恵嘉²⁾、
松下修三¹⁾、吉村和久²⁾

1) 熊本大学 エイズ学研究センター
2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

2-2-2-3 HIV-1 臨床分離株を用いた Rilpivirine 及び
Etravirine に対する交差耐性変異に関する
酵素学的な解析

松岡和弘¹⁾、重見 麗¹⁾、大出裕高¹⁾、
蜂谷敦子¹⁾、服部純子¹⁾、森下 了²⁾、
澤崎達也³⁾、横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,4)}、
杉浦 互^{1,4)}

1) 国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター
2) CellFree Sciences
3) 愛媛大学・プロテオサイエンスセンター
4) 名古屋大学大学院医学系研究科

2-2-2-4 HIV の DRV 耐性獲得機構の解明

林 宏典¹⁾、青木 学²⁾、Debananda Das³⁾、
Ravikiran S.Yedidi³⁾、中村照也⁴⁾、
高宗暢暁⁵⁾、中田浩智¹⁾、コウ康博¹⁾、
三隅将吾⁵⁾、山縣ゆり子⁴⁾、満屋裕明^{1,3)}

1) 熊本大学大学院生命科学部
血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部
2) 熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科
3) 米国国立癌研究所・レトロウイルス感染症部
4) 熊本大学薬学部 機能分子構造解析学
5) 熊本大学薬学部 薬学生化学分野

2-2-2-5 蛍光マイクロビーズを用いた中華人民共
和国 HIV-1/HBV 重複感染患者検体にお
ける lamivudine (3TC) 耐性 HBV の検出

谷 麗君^{1,2)}、Yang Han³⁾、Ying Huang²⁾、
Ting Zhu³⁾、合田 仁^{1,2)}、細谷紀彰⁴⁾、
Jing Xie³⁾、岩本愛吉^{1,4)}、Taisheng Li³⁾、
石田尚臣^{1,2)}

1) 東京大学医科学研究所 アジア感染症研究拠点
2) 日中連携研究室 中国科学院微生物研究所
3) 北京協和病院感染内科
4) 東京大学医科学研究所 感染症分野

■日時：11月21日(木) 10:50～11:40

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール
2階 大会議室)

2-2-3 基礎：分子疫学-1

座長 武部 豊

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

椎野禎一郎

(国立感染症研究所 感染症疫学センター)

2-2-3-1 北ベトナムにおける HIV 感染夫婦の社会
人口学的背景と夫婦間 HIV 伝播関連因子
について

島田郁美¹⁾、田沼順子²⁾、
Nguyen Quang Tuan³⁾、
Pham Thi Thanh Thuy³⁾、
Doan Thu Tra³⁾、吉田レイミント¹⁾、
有吉紅也¹⁾、岡 慎一²⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野
2) 独立行政法人国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター
3) Bach Mai 病院感染症科

2-2-3-2 中国の MSM 間で大流行している HIV-1
CRF01_AE variant の日本への流入

近藤真規子¹⁾、佐野貴子¹⁾、井戸田一朗²⁾、
吉村幸浩³⁾、立川夏夫³⁾、山中 晃⁴⁾、
岩室紳也⁵⁾、今井光信⁶⁾、武部 豊⁷⁾、
加藤真吾⁸⁾

1) 神奈川県衛生研究所微生物部
2) しらかば診療所
3) 横浜市立市民病院
4) 新宿東口クリニック
5) 厚木市立病院
6) 田園調布学園大学
7) 国立感染症研究所
8) 慶應義塾大学医学部

2-2-3-3 中国における CRF01_AE 流行の動因となっ
ているファウンダー株の分析：我が国お
よび周辺アジア諸国における流行との相
互関係

武部 豊^{1,2,3)}、近藤真規子⁴⁾

1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) 中国 CDC AIDS/STD 予防制圧センター
3) 中国医科大学 エイズ研究センター
4) 神奈川県衛生研究所 微生物部

一般演題(口演)

2-2-3-4 無治療の日本人 HIV 感染者における Gag 依存のウイルス増殖能と病態進行性の網羅的解析

阪井恵子¹⁾、近田貴敬¹⁾、長谷川真理¹⁾、
瀧永博之^{2,3)}、岡 慎一^{2,3)}、滝口雅文¹⁾

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
滝口プロジェクト研究室
- 2) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
- 3) 熊本大学エイズ学研究センター
岡・瀧永プロジェクト研究室

2-2-3-5 国内感染者集団の大規模塩基配列解析 4 : サブタイプと感染リスクによる伝播効率の差異

椎野禎一郎¹⁾、服部純子²⁾、瀧永博之³⁾、
吉田 繁⁴⁾、石ヶ坪良明⁵⁾、近藤真規子⁶⁾、
貞升健志⁷⁾、横幕能行²⁾、古賀道子⁸⁾、
上田幹夫⁹⁾、田邊嘉也¹⁰⁾、渡邊 大¹¹⁾、
森 治代¹²⁾、南 留美¹³⁾、健山正男¹⁴⁾、
杉浦 互²⁾

- 1) 国立感染症研究所 感染症疫学センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
- 3) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
- 4) 北海道大学
- 5) 横浜市立大学
- 6) 神奈川県衛生研究所
- 7) 東京都健康安全研究センター
- 8) 東京大学医科学研究所
- 9) 石川県立中央病院
- 10) 新潟大学医歯学総合病院
- 11) (独) 大阪医療センター
- 12) 大阪府立公衆衛生研究所
- 13) (独) 九州医療センター
- 14) 琉球大学

■日時：11月21日(木) 9:00～9:40

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階
第5+6会議室)

2-3-1 臨床：悪性腫瘍-2

座長 片野晴隆

(国立感染症研究所)

柳沢如樹

(がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

2-3-1-1 HHV-8関連Castleman病に対するSalvage療法としてDoxorubicinとValganciclovirの臨床効果

原 悠、前田卓哉、藤倉雄二、
三沢和央、河野修一、南雲盛親、
叶宗一郎、川名明彦

防衛医科大学校内科学講座 感染症・呼吸器

2-3-1-2 超音波気管支鏡(EBUS)によるカポジ肉腫の縦隔リンパ節病変の評価

水守康之、勝田倫子、鏡 亮吾、
河村哲治、中原保治、望月吉郎

国立病院機構姫路医療センター呼吸器内科

2-3-1-3 急性喉頭蓋炎として加療されていた高度気道狭窄合併カポジ肉腫の一例

石川哲也¹⁾、林 俊誠¹⁾、小川孔幸¹⁾、
柳沢邦雄¹⁾、馬渡桃子²⁾、合田 史³⁾、
内海英貴⁴⁾、石崎芳美⁵⁾、野島美久¹⁾

- 1) 群馬大学大学院医学系研究科 生体統御内科学 / 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 国立病院機構 西群馬病院 血液内科
- 3) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科
- 4) 医療法人社団日高会 白根クリニック
- 5) 群馬大学医学部附属病院 看護部

2-3-1-4 抗HIV薬と抗がん剤の併用療法が奏功したextracavitary primary effusion lymphomaを合併したHIV感染者の1例

佐々木秀悟¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、
菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、比島恒和³⁾、
味澤 篤¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床微生物科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院病理科

■日時：11月21日(木) 9:55～10:45

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階
第5+6会議室)

2-3-2 臨床：悪性腫瘍-3

座長 鯉淵智彦

(東京大学医科学研究所附属病院感染症内科)

今村顕史

(がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

2-3-2-1 肛門管癌を合併したHIV感染者6例の臨床的検討

田中 勝¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、
菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) 同臨床検査科

2-3-2-2 ART中に発症したEGFR遺伝子変異陽性進行期肺腺癌に対して分子標的治療を行い1年3ヶ月の経過で死亡した1剖検例

大田加与、川畑仁貴、松浦基夫、
藤本卓司、大成功一

市立堺病院内科

一般演題(口演)

2-3-2-3 陰茎癌を併発したHIV感染症患者の1例

加藤哲朗、保科斉生、田村久美、
保阪由美子、佐藤文哉、堀野哲也、
中澤 靖、吉田正樹、堀 誠治

東京慈恵会医科大学 感染制御科

2-3-2-4 悪性リンパ腫発症から7年後にあらたな 肛門癌を発症した一例

小林寿美子¹⁾、西盛信幸²⁾、木村久美子²⁾、
光谷純都²⁾、篠島由一²⁾、東風 貢³⁾、
照井 正²⁾、武井正美¹⁾

1) 日本大学医学部血液膠原病内科
2) 日本大学医学部皮膚科
3) 日本大学医学部消化器外科

2-3-2-5 HIV感染者における肛門部コンジローマ とAnal intraepithelial neoplasiaの臨床病 理学的検討

高橋雅恵¹⁾、堀口慎一郎¹⁾、藤原 崇²⁾、
柳澤如樹³⁾、菅沼明彦³⁾、今村顕史³⁾、
味澤 篤³⁾、
比島恒和¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院 病理科
2) がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科
3) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

■日時：11月21日(木) 10:50～11:30

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階
第5+6会議室)

2-3-3 臨床：生活習慣病関連合併症-4

座長 内藤俊夫

(順天堂大学医学部附総合診療科)

菊池 嘉

(独立行政法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・
研究開発センター)

2-3-3-1 HIV感染症患者の喫煙状況および肺年齢 についての検討

日笠真一¹⁾、安田 恵¹⁾、秀田恭子¹⁾、
木村 健¹⁾、澤田暁宏²⁾、徳川多津子²⁾、
日笠 聡²⁾

1) 兵庫医科大学病院薬剤部
2) 兵庫医科大学血液内科

2-3-3-2 当院通院中のHIV感染者における糖尿病 の有病率の推移と糖尿病に関連する因子

菊地 正¹⁾、安達英輔²⁾、宮崎菜穂子³⁾、
古川龍太郎²⁾、高谷紗帆²⁾、佐藤秀憲¹⁾、
大亀路生¹⁾、中村仁美¹⁾、古賀道子¹⁾、
磯尾直之⁴⁾、岩本愛吉¹⁾、鯉淵智彦²⁾

1) 東京大学医科学研究所感染症分野
2) 東京大学医科学研究所感染免疫内科
3) 東京大学医科学研究所薬剤部
4) 東京大学医科学研究所検査部

2-3-3-3 HIV感染者の脈波伝播速度に関連する臨 床的因子

宇野健司¹⁾、古西 満²⁾、善本英一郎³⁾、
治田匡平⁴⁾、松島紫乃⁴⁾、笠原敬¹⁾、
福盛達也¹⁾、中村ふくみ¹⁾、米川真輔¹⁾、
小川 拓¹⁾、前田光一¹⁾、谷口美苗⁵⁾、
三笠桂一¹⁾

1) 奈良県立医科大学 感染症センター
2) 奈良県立医科大学 健康管理センター
3) 奈良厚生会病院感染制御室
4) 奈良県立医科大学附属病院 薬剤部
5) 奈良県立医科大学附属病院 看護部

2-3-3-4 HIV感染者における上部消化管疾患の検討

安達英輔¹⁾、大野秀樹²⁾、古川龍太郎¹⁾、
高谷紗帆¹⁾、佐藤秀憲⁴⁾、大亀路生⁴⁾、
宮崎菜穂子³⁾、菊地 正⁴⁾、古賀道子^{1,2,4)}、
中村仁美⁵⁾、鯉淵智彦¹⁾、岩本愛吉^{4,5)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所附属病院先端診療部
3) 東京大学医科学研究所附属病院薬剤部
4) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター
感染症分野
5) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター

■日時：11月21日(木) 17:00～17:50

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール2階
第5+6会議室)

2-3-4 臨床：その他

座長 田沼順子

(国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター)

伊藤俊広

(国立病院機構仙台医療センター感染症内科)

2-3-4-1 東アジアにおけるHIV感染者を対象とし た多目的コホートEast Asia Clinical HIV Cohort (EACH cohort-PHI)の設立

田沼順子¹⁾、南 留美²⁾、遠藤知之³⁾、
岡美久子⁴⁾、高野 操¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター
エイズ治療研究開発センター
2) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症科
3) 北海道大学病院血液内科
4) 順天堂大学医学部附属順天堂医院総合診療科

2-3-4-2 早期HIV感染者の予後に関する国内初の 多施設共同コホート研究East Asia Clinical HIV Cohort (EACH cohort-PHI)

南 留美¹⁾、田沼順子²⁾、遠藤知之³⁾、
岡美久子⁴⁾、高野 操²⁾、岡 慎一²⁾

1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症科
2) 国立国際医療研究センター
エイズ治療研究開発センター
3) 北海道大学病院 血液内科
4) 順天堂大学医学部附属順天堂医院 総合診療科

一般演題(口演)

2-3-4-3 Establishment a cohort of chronically treatment-naïve individuals infected with HIV-1 in Hanoi

Tran Van Giang¹⁾、Tomohiro Akahoshi¹⁾、Hayato Murakoshi¹⁾、Nozomi Kuse¹⁾、Madoka Koyanagi¹⁾、Takayuki Chikata¹⁾、Yoshiko Tamura¹⁾、Nguyen T. Hoai Dung³⁾、Nguyen Vu Trung³⁾、Junko Tanuma²⁾、Keiko Sakai¹⁾、Shinichi Oka¹⁾、Nguyen Van Kinh³⁾、Masafumi Takiguchi¹⁾

1) Center for AIDS Research, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
2) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan
3) National Hospital for Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam

2-3-4-4 武蔵野赤十字病院感染症科におけるHIV陽性者に対するワクチン接種率

本郷偉元¹⁾、有馬丈洋¹⁾、織田錬太郎¹⁾、皆川隆志²⁾、丹羽一貴³⁾、中村春香⁴⁾、塩塚美歌³⁾

1) 武蔵野赤十字病院 感染症科
2) 武蔵野赤十字病院 看護部
3) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
4) 東京大学医学部附属病院 感染症内科

2-3-4-5 総合診療科で診断されたHIV感染50例の検討

佐藤昭裕^{1,2,4)}、赤石 雄²⁾、月森彩加^{1,4)}、畑中志郎^{2,4)}、中村 造¹⁾、福島慎二¹⁾、山元泰之³⁾、平山陽示²⁾、福武勝幸²⁾、松本哲哉^{1,4)}

1) 東京医科大学病院 感染制御部
2) 東京医科大学病院 総合診療科
3) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
4) 東京医科大学 微生物学講座

■日時：11月21日(木) 9:00～9:50

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

2-5-1 臨床：看護-1

座長 城崎真弓

(国立病院機構九州医療センター)

池田和子

(国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センター)

2-5-1-1 HIV感染者の在宅サービス利用にあたり介護スタッフとの連携を経験して～介護スタッフへの勉強会前後の質問用紙結果から見えてきたもの～

桑原 舞、佐々木育子、佐々木直美、柴田雅子、小川健一郎、小林 一

JA北海道厚生連帯広厚生病院

2-5-1-2 A病院で実施したHIV基礎知識研修の評価～A病院の看護師・助産師へのアンケートを通して～

多羽田直実、白井佐恵子、佐藤みはる、杉山ひかる、松田幸恵、村上則子、佐々木祐子、最上いくみ、梅田聖子、工藤美幸

札幌医科大学附属病院

2-5-1-3 看護師におけるHIV/AIDSに関する知識・意識調査

王 美玲¹⁾、森 正子¹⁾、河野尚美¹⁾、笠松 悠²⁾

1) 大阪市立総合医療センター 看護部
2) 大阪市立総合医療センター 感染症センター

2-5-1-4 ブロック拠点病院に勤務する看護師のHIV/AIDS看護に対する意識調査

東 政美¹⁾、下司有加利¹⁾、阿島美奈¹⁾、宮本ひとみ¹⁾、白阪琢磨²⁾

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
2) HIV/AIDS先端医療開発センター

2-5-1-5 地域がん診療連携拠点病院であり、エイズ診療拠点病院に勤務する看護師のHIV陽性患者の看護に対する不安の分析

細川 舞、倉澤 幸、池田久美子、鎌田良子

国立病院機構西群馬病院

■日時：11月21日(木) 9:55～10:45

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

2-5-2 臨床：看護-2

座長 関矢早苗

(がん・感染症センター都立駒込病院看護部)

渡部恵子

(北海道大学病院看護部)

2-5-2-1 エイズ診療拠点病院の外来看護師によるセルフマネジメント支援の実態とその関連要因に関する調査

伊藤 紅¹⁾、河原加代子²⁾、島田 恵²⁾、池田和子¹⁾、大金美和¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
2) 首都大学東京

一般演題(口演)

2-5-2-2 HIV感染症外来の病棟・外来看護体制の
評価と課題 第1報

有馬美奈

がん・感染症センター都立駒込病院

2-5-2-3 未成年HIV感染者に対する看護介入方法
の検討

小林路世、千野寿子

東京大学医科学研究所附属病院看護部

2-5-2-4 HIV療養中の患者を支える家族らのニー
ズ—第2報—

宮林優子、寺澤美穂

横浜市長市民病院看護部

2-5-2-5 HIV/AIDS患者への看護介入方法の検討
～HIV/AIDS病棟看護師用看護介入ツール
を作成し使用した5事例から～

田中剛弘

大阪医療センター

■日時：11月21日(木) 10:50～11:50

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

2-5-3 臨床：薬剤耐性(臨床)、服薬アドヒアランス

座長 杉浦 互

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・
免疫研究部)

小島賢一

(医療法人財団 荻窪病院血液科)

2-5-3-1 新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性
HIVの動向

重見 麗¹⁾、服部純子¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、
湯永博之²⁾、渡邊 大³⁾、長島真美⁴⁾、
貞升健志⁴⁾、近藤真規子⁵⁾、南 留美⁶⁾、
吉田 繁⁷⁾、森 治代⁸⁾、内田和江⁹⁾、
椎野禎一郎¹⁰⁾、加藤真吾¹¹⁾、千葉仁志⁷⁾、
伊藤俊広¹²⁾、佐藤武幸¹³⁾、上田敦久¹⁴⁾、
石ヶ坪良明¹⁴⁾、古賀一郎¹⁵⁾、太田康男¹⁵⁾、
山元泰之¹⁶⁾、福武勝幸¹⁶⁾、古賀道子¹⁷⁾、
岩本愛吉¹⁷⁾、西澤雅子¹⁰⁾、岡 慎一²⁾、
松田昌和¹⁾、林田庸総²⁾、横幕能行¹⁾、
上田幹夫¹⁸⁾、大家正義¹⁹⁾、田邊嘉也¹⁹⁾、
白阪琢磨³⁾、小島洋子⁸⁾、藤井輝久²⁰⁾、
高田 昇²⁰⁾、高田 清式²¹⁾、山本政弘⁶⁾、
松下修三²²⁾、藤田次郎²³⁾、健山正男²³⁾、
杉浦 互^{1), 10)}

1) (独)名古屋医療センター

2) 国立国際医療研究センター

3) (独)大阪医療センター

4) 東京都健康安全研究センター

5) 神奈川県衛生研究所

6) (独)九州医療センター

7) 北海道大学

8) 大阪府立公衆衛生研究所

9) 埼玉県衛生研究所

10) 国立感染症研究所

11) 慶應義塾大学

12) (独)仙台医療センター

13) 千葉大学

14) 横浜国立大学

15) 帝京大学

16) 東京医科大学

17) 東京大学医科学研究所

18) 石川県立中央病院

19) 新潟大学

20) 広島大学病院

21) 愛媛大学

22) 熊本大学

23) 琉球大学

2-5-3-2 当院における処方薬剤量の変遷と既治療
者の薬剤耐性HIVの動向に関する検討

中村仁美¹⁾、古川龍太郎²⁾、高谷紗帆²⁾、
佐藤秀憲⁴⁾、大亀路生⁴⁾、宮崎菜穂子³⁾、
安達英輔²⁾、菊地 正⁴⁾、古賀道子⁴⁾、
鯉淵智彦²⁾、杉浦 互⁵⁾、岩本愛吉^{1,2,4)}

1) 東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター

2) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

3) 薬剤部

4) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター

感染症分野

5) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター

一般演題(口演)

2-5-3-3 2012年度HIV薬剤耐性検査外部精度管理の報告

吉田 繁¹⁾、服部純子²⁾、松田昌和²⁾、橋本 修³⁾、岡田清美⁴⁾、和山行正⁴⁾、加藤真吾⁵⁾、伊部史郎⁴⁾、巽 正志⁶⁾、杉浦 互²⁾

- 1) 北海道大学大学院保健科学研究院
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 三菱化学メディエンス
- 4) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 5) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 6) 国立感染症研究所

2-5-3-4 AIDS患者の併用薬を視点とした服薬アドヒアランス低下因子の調査

芝 祐輔¹⁾、外島正樹²⁾、法月正太郎²⁾、須藤俊明¹⁾

- 1) 自治医科大学附属病院 薬剤部
- 2) 自治医科大学附属病院 感染症センター

2-5-3-5 セルフマネジメント能力を高める服薬教育の必要性 ～不測時における対処法の指導を通じて～

宮崎菜穂子¹⁾、古川龍太郎²⁾、高谷紗帆²⁾、佐藤秀憲³⁾、大亀路生³⁾、安達英輔²⁾、菊地 正³⁾、古賀道子^{2,3)}、中村仁美²⁾、細野 治⁴⁾、鯉淵智彦²⁾、岩本愛吉^{2,3)}

- 1) 東京大学医科学研究所 附属病院薬剤部
- 2) 同 附属病院感染免疫内科
- 3) 同 先端医療研究センター感染症分野
- 4) 同 附属病院アレルギー免疫科

2-5-3-6 駒込病院における院外処方せんへの移行に向けた病院薬剤師の取り組み

朽木絵美¹⁾、佐野俊彦¹⁾、河内大和¹⁾、後藤総太郎¹⁾、柳澤如樹²⁾、菅沼明彦²⁾、今村顕史²⁾、味澤 篤²⁾

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

■日時：11月21日(木) 17:00～17:50

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

2-5-4 臨床：合併症、STI・STD-1

座長 藤井輝久

(広島大学病院輸血部)

上田幹夫

(石川県立中央病院免疫感染症科)

2-5-4-1 HIV治療中断とともに貧血の増悪を認めたβサラセミアの一例

古川良尚¹⁾、橋口照人²⁾

- 1) 鹿児島大学大学院輸血部
- 2) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学

2-5-4-2 再生不良性貧血の経過中にAIDSを発症し血小板減少に苦慮した一例

湯川理己¹⁾、白野倫徳²⁾、吉田全宏³⁾、亀田和明²⁾、笠松 悠²⁾、波多野義郎²⁾、後藤哲志²⁾、山根孝久³⁾、市田祐之⁴⁾、日野雅之⁵⁾

- 1) 大阪市保健所
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症センター
- 3) 大阪市立総合医療センター血液内科
- 4) 大阪市立総合医療センター薬剤部
- 5) 大阪市立大学大学院医学研究科血液腫瘍制御学

2-5-4-3 Association between CD4 T-lymphocyte count and thrombocytopenia in HIV infected patient with HAART therapy

Mitchai Manthana^{1,2)}、Leeratanapetch Niramol³⁾、Wongkham Sopit⁴⁾、Seiji Okada¹⁾

- 1) Center for AIDS Research, Kumamoto University
- 2) Department of Clinical Pathology, Khon Kaen Hospital
- 3) Department of Internal Medicine, Khon Kaen Hospital
- 4) Department of Biochemistry, Faculty of Medicine, Khon Kaen University

2-5-4-4 HIV感染症に血球貪食症候群を合併した3症例

小川 拓、宇野健司、笠原 敬、善本英一郎、古西 満、三笠桂一
奈良県立医科大学感染症センター

2-5-4-5 血球貪食症候群を合併した急性HIV感染症の一例

横田和久、名取洋一郎、石金正裕、古川恵一
聖路加国際病院 内科・感染症科

■日時：11月22日(金) 9:00～9:50

■会場：第1会場(市民会館崇城大学ホール1階大ホール)

3-1-1 臨床：肝炎

座長 高松純樹

(日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター)

三田英治

(国立病院機構大阪医療センター)

3-1-1-1 Etravirineの肝代謝酵素誘導作用によりTelaprevirの血中濃度低下が疑われた1例

矢倉裕輝¹⁾、坂根貞嗣²⁾、櫛田宏幸¹⁾、吉野宗宏¹⁾、上平朝子³⁾、三田英治²⁾、白阪琢磨³⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター 薬剤科
- 2) 国立病院機構大阪医療センター 消化器内科
- 3) 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

一般演題(口演)

3-1-1-2 前治療無効のHIV/HCV重複感染患者にテラプレビルを含む3剤併用療法を行いウイルス学的著効が得られた1例

村田昌之¹⁾、古庄憲浩¹⁾、小川栄一¹⁾、光本富士子¹⁾、豊田一弘¹⁾、林 純²⁾

1)九州大学病院 総合診療科
2)原土井病院 九州総合診療センター

3-1-1-3 しらかば診療所で経験した、HIV陽性者における急性C型肝炎の集団発生について

井戸田一朗¹⁾、加藤康幸²⁾、青柳東代³⁾、相崎英樹³⁾、脇田隆字³⁾

1)しらかば診療所
2)国立国際医療研究センター 国際感染症センター
3)国立感染症研究所 ウイルス第二部

3-1-1-4 当院のHIV感染者に合併した急性C型肝炎36例の臨床的検討

石金正裕¹⁾、上村 悠^{1,2)}、杉原 淳^{1,2)}、柳川泰昭^{1,2)}、的野多加志^{1,2)}、山元 佳^{1,2)}、水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、青木孝弘¹⁾、渡辺恒二¹⁾、木内 英¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、瀧永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾

1)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
2)国立国際医療研究センター 総合感染症コース

3-1-1-5 HIV感染血友病患者の肝硬変における脾摘の有用性

花房秀次、長尾 梓、和田育子、前川嘉世、石倉未緒、小島賢一

荻窪病院 血液科

3-2-1-2 HIV感染合併虫垂炎症例におけるアメーバ性虫垂炎の頻度とその特徴

渡辺恒二¹⁾、小林泰一郎¹⁾、石金正裕¹⁾、水島大輔¹⁾、西島 健¹⁾、木内 英¹⁾、本田元人¹⁾、矢崎博久¹⁾、田沼順子¹⁾、塚田訓久¹⁾、瀧永博之¹⁾、照屋勝治¹⁾、菊池 嘉¹⁾、岡 慎一¹⁾、日野原千速²⁾、三原史規²⁾、矢野秀朗²⁾、村田行則³⁾、猪狩 亨³⁾

1)国立国際医療研究センターACC
2)同外科
3)同中央検査部

3-2-1-3 潰瘍性大腸炎との鑑別が困難であったHIV関連腸炎の2例

柳 富子¹⁾、河口貴昭²⁾、酒匂美奈子²⁾、吉村直樹²⁾、高添正和²⁾、飯原久仁子³⁾

1)社会保険中央総合病院血液内科
2)社会保険中央総合病院炎症性腸疾患センター
3)社会保険中央総合病院病理

3-2-1-4 HIV感染者におけるHelicobacter pylori新規感染と既感染者の治療経過と合併症について

矢崎博久、上村 悠、石金正裕、的野多加志、杉原 淳、柳川泰昭、山元 圭、水島大輔、西島 健、木内 英、青木孝弘、渡辺恒二、本田元人、田沼順子、塚田訓久、瀧永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

3-2-1-5 大阪医療センターにおけるカポジ肉腫関連ヘルペスウイルスの抗体保有率の検討

渡邊 大¹⁾、鈴木佐知子¹⁾、蘆田美紗¹⁾、伊熊素子²⁾、廣田和之²⁾、小川吉彦²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、白阪琢磨^{1,2)}

1)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
2)独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科

■日時：11月22日(金) 9:00～9:50

■会場：第2会場(市民会館崇城大学ホール2階 大会議室)

3-2-1 臨床：合併症、STI・STD-2

座長 渡辺恒二

(国立国際医療研究センター病院エイズ治療研究開発センター)

渡邊 大

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部)

3-2-1-1 梅毒性直腸炎を契機にHIV感染症が判明し、アメーバ性肝膿瘍罹患後にARTを開始した1例

北原 栄¹⁾、黒川博一¹⁾、守田 亮¹⁾、小高英達¹⁾、小野朋子²⁾、高田知恵子³⁾、三浦一樹⁴⁾

1)秋田赤十字病院呼吸器内科
2)笠松病院
3)秋田大学教育文化学部
4)外旭川病院

一般演題(口演)

■日時：11月22日(金) 9:00～9:40

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール
2階 第5+6会議室)

3-3-1 基礎：分子疫学-2

座長 森 治代

(大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課)

大出裕高

((独)国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター)

3-3-1-1 高ウイルス血症と急激なCD4数の減少を呈するHIV-1感染初期症例の地域的集積とそのウイルス学的解析

森 治代¹⁾、小島洋子¹⁾、川畑拓也¹⁾、
駒野 淳¹⁾、松浦基夫²⁾

1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2) 市立堺病院腎代謝免疫内科

3-3-1-2 次世代シーケンサーIllumina MiSeqによるHIVゲノム配列の網羅的解析システムの構築

大出裕高¹⁾、松岡和弘¹⁾、松田昌和¹⁾、
根本理子¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,2)}、杉浦 互^{1,2)}

1) (独)国立病院機構名古屋医療センター
臨床研究センター
2) 名古屋大学 大学院医学系研究科

3-3-1-3 HIV抗体陽性献血者で確認されたB型、C型肝炎ウイルスとの重複感染

佐山勇輔、山岸尚仁、星 友二、
松本千恵子、内田茂治、佐竹正博、
田所憲治

日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

3-3-1-4 WB法HIV抗体確認検査陽性数によるHIV診断動向把握の検討

中瀬克己¹⁾、山岸拓也²⁾、中島一敏²⁾、
多田有希²⁾、尾本由美子³⁾、神谷信行⁴⁾、
灘岡陽子⁴⁾、川畑拓也⁵⁾、白井千香⁶⁾、
山内昭則⁷⁾、高橋裕明⁷⁾、堀 成美⁸⁾、
持田嘉之⁹⁾、中谷友樹¹⁰⁾、大西 真²⁾

1) 岡山市保健所
2) 国立感染症研究所
3) 豊島区保健所
4) 東京都健康安全センター
5) 大阪府立公衆衛生研究所
6) 神戸市保健所
7) 三重県保健環境研究所
8) 国立国際医療研究センター
9) 株式会社エスアールエル
10) 立命館大学文学部

■日時：11月22日(金) 9:45～10:45

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール
2階 第5+6会議室)

3-3-2 基礎：感染機構

座長 村上 努

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

土屋亮人

(国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター)

3-3-2-1 Env V3領域における11番目のArg挿入と25番目のアミノ酸欠失およびN-結合型糖鎖修飾部位の変異はHIV-1にCXCR4指向性を付与する

土屋亮人¹⁾、大出裕高^{2,3)}、林田庸総^{1,4)}、
柿澤淳子¹⁾、佐藤裕徳²⁾、岡 慎一^{1,4)}、
瀧永博之^{1,4)}

1) 国立国際医療研究センター
エイズ治療・研究開発センター
2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター
3) 名古屋医療センター 臨床研究センター
4) 熊本大学 エイズ学研究センター

3-3-2-2 HIV-1特異的侵入阻害剤として機能するMA部分ペプチドの抗ウイルス活性作用機序の検討

村上 努¹⁾、橋本知恵²⁾、藤野真之¹⁾、
鳴海哲夫²⁾、野村 涉²⁾、山本直樹³⁾、
玉村啓和²⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 東京医科歯科大生体材料工学研究所
3) 国立シンガポール大学医学部

3-3-2-3 Evaluation of HIV-1 reverse transcriptase (RT) heterodimerization within living cells using bimolecular fluorescence complementation (BiFC)

Amber R. Moore¹⁾、Tomofumi Nakamura¹⁾、
Joseph R. Campbell¹⁾、Hiroaki Mitsuya^{1,2)}

1) Departments of Hematology, Rheumatology, and Infectious Diseases, Kumamoto University School of Medicine
2) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH

3-3-2-4 Studying HIV-1 Integrase LEDGF binding inhibitors using bimolecular fluorescence complementation

Joseph R. Campbell¹⁾、
Tomofumi Nakamura¹⁾、Haruo Aikawa³⁾、
Hirokazu Tamamura³⁾、Hiroaki Mitsuya^{1,2)}

1) Departments of Hematology, Rheumatology, and Infectious Diseases Kumamoto University School of Medicine
2) Experimental Retrovirology Section, National Cancer Institute, National Institutes of Health
3) Institute of Biomaterials and Bioengineering, Tokyo Medical and Dental University

一般演題(口演)

3-3-2-5 HIV暴露後早期における抗HIV剤投与効果の解析

青木宏美¹⁾、鎌田伸好¹⁾、服部真一朗²⁾、
林 宏典¹⁾、Amber R.Moore¹⁾、青木 学³⁾、
岡田誠治²⁾、満屋裕明^{1,4)}

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部 血液内科学・感染免疫診療部
- 2) 熊本大学エイズ学センター
- 3) 熊本保健科学大学・保健科学部
- 4) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH

3-3-2-6 抗ウイルス薬感受性に対するHIV感染経路の影響

志村和也¹⁾、大石真也²⁾、藤井信孝²⁾、
松岡雅雄¹⁾

- 1) 京都大学ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域
- 2) 京都大学大学院薬学研究科 ケモゲノミクス・薬品有機製造学

■日時：11月22日(金) 10:50～11:40

■会場：第3会場(市民会館崇城大学ホール
2階 第5+6会議室)

3-3-3 基礎：ワクチン、免疫-2

座長 高橋秀実

(日本医科大学大学院医学研究科微生物学・免疫学講座)

阪井恵子

(熊本大学エイズ学研究センター)

3-3-3-1 gp120のCD4-induced epitopeに結合する中和抗体の小型化とその特性の検討

田中和樹、桑田岳夫、丸田泰広、
Kristel Ramirez、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター

3-3-3-2 細胞内ドメイン欠損Envを有するHIV/SIV粒子の作製

五領舞衣^{1,2)}、原田恵嘉¹⁾、石井 洋¹⁾、
吉村和久¹⁾、俣野哲朗^{1,2)}

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 2) 東京大学医科学研究所

3-3-3-3 Involvement of hemopoietic cell kinase and p21-activated kinase in HIV-1 Nef down-regulation of CD1a-restricted lipid Antigen presentation in dendritic cells

新谷英滋¹⁾、清水真澄¹⁾、大脇敦子¹⁾、
Lucia MORI²⁾、Gennaro DE LIBERO²⁾、
高橋秀実¹⁾

- 1) 日本医科大学大学院 微生物学・免疫学分野
- 2) Department of Biomedicine, University Hospital Basel

3-3-3-4 ART治療中断に伴うウイルス再燃へのNKT細胞の関与

松村次郎¹⁾、大脇敦子¹⁾、近江恭子¹⁾、
清水真澄¹⁾、新谷英滋¹⁾、岡 慎一²⁾、
高橋秀実¹⁾

- 1) 日本医科大学微生物学免疫学教室
- 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

3-3-3-5 $\gamma\delta$ T細胞によるNKT細胞におけるR5型HIV-1の制御

近江恭子、清水真澄、渡邊恵理、
松村次郎、高久千鶴乃、高橋秀実

日本医科大学大学院微生物学免疫学教室

■日時：11月22日(金) 9:00～9:50

■会場：第4会場(熊本市国際交流会館6階ホール)

3-4-1 臨床：母子感染

座長 矢永由里子

(慶應義塾大学病院)

和田裕一

(国立病院機構仙台医療センター)

3-4-1-1 よりよい小児HIV診療を目指して～治療・ケアにおける問題点と対策の検討～

田中瑞恵¹⁾、森本奈央¹⁾、大熊香織¹⁾、
山中純子¹⁾、瓜生英子¹⁾、細川真一¹⁾、
池田和子²⁾、大金美和²⁾、木内 英²⁾、
田沼順子²⁾、菊池 嘉²⁾、岡 慎一²⁾、
松下竹次¹⁾

- 1) 国立国際医療研究センター 小児科
- 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

3-4-1-2 妊婦HIVスクリーニング検査の調査による検査時対応の現状と課題の検討

矢永由里子¹⁾、山田里佳²⁾、谷口晴記²⁾、
千田時広²⁾、佐野貴子²⁾、喜多恒和²⁾、
外川正生²⁾、吉野直人²⁾、大島敦子²⁾、
明城光三²⁾、稲葉憲之²⁾、和田裕一²⁾、
塚原優己²⁾

- 1) 慶應義塾大学病院
- 2) 厚生労働省エイズ対策研究事業 母子感染の疫学調査と予防対策および女性、小児感染者

3-4-1-3 病院及び診療所における妊婦HIVスクリーニング検査実施率の推移

吉野直人^{1,2)}、喜多恒和²⁾、高橋尚子^{1,2)}、
伊藤由子²⁾、杉山 徹²⁾、竹下亮輔²⁾、
外川正生²⁾、戸谷良造²⁾、稲葉憲之²⁾、
和田裕一²⁾、塚原優己²⁾

- 1) 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働省エイズ対策研究事業 エイズ対策研究事業「HIV母子感染の疫学調査と予防対策および女性・小児感染者支援に関する研究」班

一般演題(口演)

3-4-1-4 妊婦HIVスクリーニング検査の偽陽性に関する調査-2004年調査と比較して-

山田里佳^{1,2)}、谷口晴記²⁾、千田時広²⁾、
矢永由里子²⁾、佐野貴子²⁾、明城光三²⁾、
喜多恒和²⁾、外川正生²⁾、吉野直人²⁾、
大島教子²⁾、和田裕一²⁾、稲葉憲之²⁾、
塚原優己²⁾

1) 三重県立総合医療センター 産婦人科
2) 厚生省エイズ対策研究事業 母子感染の疫学調査と
予防対策および女性、小児感染者支援に関する研究班

3-4-1-5 早産HIV感染妊婦に対する地域連携体制に関する全国調査

蓮尾泰之¹⁾、明城光三²⁾、林 公一³⁾、
和田裕一²⁾、五味淵秀人⁴⁾、大沢昌二⁴⁾、
鈴木智子⁵⁾

1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
産婦人科
2) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
産婦人科
3) 独立行政法人国立病院機構関門医療センター
産婦人科
4) 河北総合病院 産婦人科
5) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
医療情報管理室
6) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
感染症内科/管理課

3-5-1-3 HIVチーム医療における心理検査の運用の検討 -その1-

辻麻理子¹⁾、阪木淳子^{1,2)}、曾我真千恵³⁾、
城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、首藤美奈子¹⁾、
郭 悠¹⁾、高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、
南 留美¹⁾、山本政弘¹⁾

1) 国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV総合治療センター
2) (公財)エイズ予防財団
3) 福岡県保健医療介護部

3-5-1-4 HIVチーム医療における心理検査の運用の検討-その2-神経心理学的検査を応用したケアの実践

阪木淳子^{1,2)}、辻麻理子¹⁾、曾我真千恵³⁾、
城崎真弓¹⁾、長與由紀子¹⁾、郭 悠¹⁾、
高濱宗一郎¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、南 留美¹⁾、
山本政弘¹⁾

1) 国立病院機構九州医療センター
AIDS/HIV総合治療センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント
3) 福岡県保健医療介護部

3-5-1-5 新潟大学医歯学総合病院におけるHIV感染症患者のメンタルヘルスの状況-GHQ-30の継続的測定から

早津正博、古谷野淳子

新潟大学医歯学総合病院 感染管理部

■日時：11月22日(金) 9:00～9:50

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

3-5-1 社会：カウンセリング-2

座長 仲倉高広

(国立病院機構 大阪医療センター臨床心理室)

高田知恵子

(秋田大学教育文化学部)

■日時：11月22日(金) 9:55～10:45

■会場：第5会場(熊本市国際交流会館4階第3会議室)

3-5-2 社会：検査・相談体制-2

座長 貞升健志

(東京都健康安全研究センター微生物部)

佐野貴子

(神奈川県衛生研究所微生物部)

3-5-1-1 箱庭療法が奏功したHIV陽性者の心理療法～広汎性発達障害のあるHIV陽性者の事例～

仲倉高広¹⁾、下司有加²⁾、渡邊 大³⁾、
白阪琢磨⁴⁾

1) 大阪医療センター臨床心理室
2) 大阪医療センター
3) 大阪医療センターHIV感染制御研究室
4) 大阪医療センターエイズ先端医療研究部

3-5-1-2 HIV感染をきっかけに他者に不信感を持ったHIV陽性者の風景構成法についての検討

鍛治まどか^{1,2)}、仲倉高広¹⁾、下司有加¹⁾、
東 政美¹⁾、鈴木成子¹⁾、池上幸恵¹⁾、
上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団

3-5-2-1 HIV急性感染期の診断における第4世代HIV迅速検査試薬エスプラインHIV Ag/Abの性能評価

川畑拓也¹⁾、長島真美²⁾、貞升健志²⁾、
小島洋子¹⁾、森 治代¹⁾

1) 大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課
2) 東京都健康安全研究センター微生物部

3-5-2-2 急性感染後半年以上にわたり抗体陽性とならず、急速に免疫不全に陥った一症例

松浦基夫¹⁾、大田加与²⁾、大成功一²⁾、
藤本卓司³⁾、川畑拓也⁴⁾、森 治代⁴⁾、
小島洋子⁴⁾

1) 市立堺病院腎代謝免疫内科
2) 市立堺病院呼吸器内科
3) 市立堺病院総合内科
4) 大阪府公衆衛生研究所

3-5-2-3 「診療における HIV-1/2 感染症の診断ガイドライン 2008 (日本エイズ学会・日本臨床検査医学会 標準推奨法)」逸脱症例

丹羽一貴¹⁾、山元泰之¹⁾、近澤悠志¹⁾、
備後真登¹⁾、清田育男¹⁾、四本美保子¹⁾、
大瀧 学¹⁾、尾形享一¹⁾、萩原 剛¹⁾、
鈴木隆史¹⁾、天野景裕¹⁾、高谷紗帆²⁾、
鯉淵智彦²⁾、岩本愛吉²⁾、親泊あいみ³⁾、
加藤真吾³⁾、杉浦 互⁴⁾、福武勝幸¹⁾

1) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
2) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
3) 慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
4) 名古屋医療センター 臨床研究センター
感染・免疫研究部

3-5-2-4 本邦における HIV-2 感染疑い症例の実情と問題点

根本理子¹⁾、伊部 史朗²⁾、今橋真弓^{1,3)}、
今村淳治¹⁾、岩谷靖雅^{1,3)}、横幕能行¹⁾、
味澤 篤⁴⁾、杉浦 互^{1,3)}

1) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター
2) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
3) 名古屋大学 大学院医学系研究科
4) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

3-5-2-5 リアルタイム PCR を用いた HIV-1 と HIV-2 の同時検査法の開発

山崎さやか¹⁾、近藤真規子²⁾、加藤真吾¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部医学研究科
2) 神奈川衛生研究所

一般演題プログラム

(ポスター)

*本号(()内)のページ数を掲載しております。

ポスター

プログラム／抄録

日時： 奇数演題 11月20日(水) 13:00～14:00
偶数演題 11月21日(木) 13:00～14:00

基礎	複製／病原性	P001～P002	P.71	P.298
基礎	宿主因子	P003	P.71	P.299
基礎	アクセサリ-遺伝子	P004	P.71	P.299
基礎	感染機構	P005～P006	P.71	P.300
基礎	ワクチン・免疫	P007～P008	P.71	P.301
基礎	動物モデル	P009～P010	P.71	P.302
基礎	新薬開発	P011	P.71	P.303
基礎	薬剤耐性(基礎)	P012～P014	P.72	P.303
基礎	分子疫学	P015～P018	P.72	P.305
臨床	日和見感染症	P019～P027	P.72	P.307
臨床	悪性腫瘍	P028～P033	P.73	P.311
臨床	免疫再構築症候群	P034～P035	P.74	P.314
臨床	肝炎	P036～P040	P.74	P.315
臨床	生活習慣病関連合併症(CVD、脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害)	P041～P045	P.74	P.318
臨床	抗HIV療法	P046～P063	P.75	P.320
臨床	歯科	P064～P065	P.77	P.329
臨床	HAND	P066～P068	P.77	P.330
臨床	副作用	P069～P071	P.77	P.332
臨床	臨床薬理	P072～P073	P.77	P.333
臨床	薬剤耐性／服薬アドヒアランス	P074～P079	P.78	P.334
臨床	合併症・STI・STD	P080～P085	P.78	P.337
臨床	母子感染	P086～P089	P.79	P.340
臨床	看護	P090～P100	P.79	P.342
社会	行動科学・意識調査、予防・教育	P101～P107	P.80	P.348
社会	政策・医療体制	P108～P120	P.81	P.351
臨床	その他	P121～P123	P.82	P.358
社会	検査・相談体制	P124～P127	P.82	P.359
社会	カウンセリング	P128～P129	P.82	P.361
社会	ソーシャルワーク	P130～P131	P.83	P.362
社会	陽性者支援	P132～P135	P.83	P.363
社会	在宅療養支援・ケアコーディネーション	P136～P139	P.83	P.365
社会	薬剤	P140～P141	P.84	P.367

一般演題(ポスター)

日時： 奇数演題 11月20日(水) 13:00～14:00 偶数演題 11月21日(木) 13:00～14:00

■会場：ポスター会場1
(熊本市国際交流会館4階)

基礎：複製／病原性

P001 HIV-1陽性者末梢血からのHIV-1短鎖RNAの検出および定量法の確立

石坂 彩¹⁾、立川(川名) 愛²⁾、中村仁美³⁾、古賀道子²⁾、細谷紀彰³⁾、鯉淵智彦⁴⁾、野本明男¹⁾、岩本愛吉^{2,3,4)}、水谷壮利¹⁾

1) 公益財団法人微生物化学研究会微生物化学研究所(微化研) 基盤生物研究部
2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症分野
3) 東京大学医科学研究所感染症国際研究センター
4) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

P002 HIV-1インテグラーゼ多量体形成を制御する薬剤のBiFC法による評価

中村朋文¹⁾、Joeseeph Campbell¹⁾、Amber Moore¹⁾、相川春夫²⁾、玉村啓和²⁾

1) 熊本大学生命科学研究部、血液内科、膠原病内科、感染免疫診療部
2) 東京医科歯科大学、生体材料工学研究所、生体機能分子研究部門、メディシナルケミストリー分野

基礎：宿主因子

P003 マクロファージ指向性HIV-1も、マクロファージおよび単球においてSAMHD1による増殖抑制を受けている

田谷かほる、中山英美、塩田達雄
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

基礎：アクセサリ遺伝子

P004 Nef2 mRNAの5'非翻訳領域に含まれるNef翻訳に重要なcis領域

高宗暢暁¹⁾、山本充奈美¹⁾、原田圭輔¹⁾、藤田美歌子²⁾、大塚雅巳³⁾、杉本幸彦¹⁾、庄司省三¹⁾、三隅将吾¹⁾

1) 熊本大学大学院 生命科学研究部 薬学生化学分野
2) 熊本大学 薬学部 附属創薬研究センター
3) 熊本大学大学院 生命科学研究部 生体機能分子合成学分野

基礎：感染機構

P005 CRF01_AE X4 HIV-1のCXCR4阻害剤耐性獲得機構の解析

寺沢広美¹⁾、前田洋助¹⁾、中野雄介¹⁾、門出和精¹⁾、遊佐敬介²⁾、原田信志¹⁾

1) 熊本大学大学院生命科学研究部感染防御
2) 国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部ウイルス安全性研究室

P006 HIV-1のビリオン内逆転写に関する研究
親泊あいみ、加藤真吾

慶應義塾大学医学部免疫学微生物学教室

基礎：ワクチン・免疫

P007 Dual recognition of HIV-1-infected cells and selection of same escape mutant virus by cytotoxic T cells recognizing overlapping 8-mer and 10-mer Nef peptide

Xiaoming Sun¹⁾、Mamoru Fujiwara¹⁾、Nozomi Kuse¹⁾、Shinichi Oka^{1,2)}、Masafumi Takiguchi¹⁾

1) Center for AIDS research, Kumamoto University
2) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine

P008 Effect of drug resistant mutations on HIV-1-specific CTL recognition

Mohammad Arif Rahman¹⁾、N Kuse¹⁾、H Murakoshi¹⁾、T Chikata¹⁾、H Gatanaga^{1,2)}、S Oka^{1,2)}、M Takiguchi¹⁾

1) Center for AIDS research, Kumamoto University
2) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine

基礎：動物モデル

P009 産地別SPFカニクイザルを用いたサル免疫不全ウイルスのエイズ病態に関する研究

岡村智崇¹⁾、松尾和浩²⁾、保富康宏¹⁾

1) 医薬基盤研究所 霊長類医学研究センター
2) 日本BCG研究所

P010 新規CCR5指向性かつ中和抵抗性SHIVクローンの作製および解析

米田 舞^{1,2)}、大附寛幸¹⁾、松下修三³⁾、三浦智行¹⁾

1) 京都大学ウイルス研究所 霊長類モデル研究領域
2) 京都大学大学院 人間・環境学研究所
3) 熊本大学 エイズ学研究センター

基礎：新薬開発

P011 MAGI細胞による薬剤 screening において酵素法がヒット化合物検出に優れる

児玉栄一

東北大学医学部 みやぎ地域医療支援寄附講座、東北メディカルメगाバンク機構、総合感染症科

一般演題(ポスター)

日時： 奇数演題 11月20日(水) 13:00~14:00 偶数演題 11月21日(木) 13:00~14:00

基礎：薬剤耐性(基礎)

P012 東京都におけるHIV検査陽性例より検出されたT215X-revertantの解析

長島真美¹⁾、宮川明子¹⁾、新開敬行¹⁾、
林 志直¹⁾、貞升健志¹⁾、甲斐明美¹⁾、
小島洋子²⁾、川畑拓也²⁾、森 治代²⁾

1) 東京都健康安全研究センター 微生物部
2) 大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウイルス課

P013 V3領域とオリゴヌクレオチドプローブのTm値測定によるHIV-1指向性判定法の開発

植田知幸¹⁾、田水映子¹⁾、須藤弘二²⁾、
加藤真吾²⁾

1) 慶應大学医学部感染制御センター
2) 慶應義塾大学医学部微生物学教室

P014 ガーナ国コフォリデュア州立病院における現行ARTの有効性評価に関する追跡調査研究

井戸栄治^{1,2)}、Jacob Barnor²⁾、
Ishmael Aziati²⁾、Esinam Agbosu²⁾、
James Brandful²⁾、William Ampofo²⁾、
George Dampney³⁾、Samuel Morton³⁾、
Samson Ofori³⁾、石川晃一⁴⁾、山岡昇司¹⁾

1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
2) ガーナ大学野口記念医学研究所
3) コフォリデュア州立病院
4) 国立感染症研究所

基礎：分子疫学

P015 東海地域で見いだされた新たなCRF01_AE/BリコンビナントHIV-1株

保坂真澄¹⁾、藤崎誠一郎^{1,2)}、服部純子¹⁾、
椎野禎一郎²⁾、松田昌和¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、
重見 麗¹⁾、岡崎玲子¹⁾、岩谷靖雅^{1,4)}、
濱口元洋³⁾、横幕能行¹⁾、杉浦 互^{1,4)}

1) 国立病院機構名古屋医療センター
2) 国立感染症研究所
3) 愛知県赤十字血液センター
4) 名古屋大学大学院

P016 本邦HIV-1感染患者におけるHIV-1 *vif* の分子遺伝学的解析

村上理彦¹⁾、松岡和弘¹⁾、椎野禎一郎²⁾、
今橋真弓¹⁾、松田昌和¹⁾、横幕能行¹⁾、
岩谷靖雅^{1,3)}、杉浦 互^{1,3)}

1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター
臨床研究センター
2) 国立感染症研究所感染症情報センター
3) 名古屋大学院医学系研究科

P017 当院におけるART導入したHIV感染症21症例の検討

南條友央太¹⁾、佐々木信一^{1,2)}、中澤武司²⁾、
木下綾子³⁾、関口康宣⁴⁾、成田久美⁵⁾、
岩崎沙奈美⁶⁾、飯田美奈子⁶⁾、月山智美⁶⁾、
古田あずさ⁷⁾、金森由和⁷⁾、玉野知佐⁸⁾、
伊藤友美⁸⁾、鈴木俊介⁹⁾、唐島孝彰¹⁰⁾、
米山桂一¹¹⁾、富永 滋¹⁾

1) 順天堂大学医学部付属浦安病院呼吸器内科
2) 同感染対策室
3) 同皮膚科
4) 同血液内科
5) 同薬剤科
6) 同看護部
7) 同メンタルクリニック
8) 同医療福祉相談室
9) 同医事課
10) 同総務課
11) 同情報管理室

P018 Phylogeographic Analysis of Human Immunodeficiency Virus Type 1 (HIV-1) CRF07-BC in China

Asiya Hapaer, Fengrong Ren,
Hiroshi Tanaka

Department of Bioinformatics, Tokyo Medical and
Dental University

臨床：日和見感染症

P019 重症CMV肺炎を併し人工呼吸管理を要したHIV/AIDSの一例

土戸康弘、篠原 浩、朽谷健太郎、
清水恒広

京都市立病院感染症内科

P020 HIV患者に合併した出血性膀胱炎の1例

亀田和明¹⁾、羽田野義郎¹⁾、白野倫徳¹⁾、
笠松 悠¹⁾、後藤哲志¹⁾、長嶋和郎²⁾

1) 大阪市立総合医療センター感染症センター
2) 札幌東徳洲会病院 病理診断科

P021 クリプトコッカス髄膜炎に小脳症状を合併したHIV感染者の一例

錦 信吾¹⁾、森岡 悠¹⁾、関谷紀貴²⁾、
柳澤如樹¹⁾、菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、
味澤 篤¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査科

P022 免疫再構築により発症、増悪を認めたトキソプラズマ脳症の3例

菅沼明彦、柳澤如樹、今村顕史、
味澤 篤

がん・感染症センター都立駒込病院

一般演題(ポスター)

日時： 奇数演題 11月20日(水) 13:00~14:00 偶数演題 11月21日(木) 13:00~14:00

P023 色素試験が活動性の評価に有用であった
重症トキソプラズマ脳炎の一例

保科斉生¹⁾、中拂一彦²⁾、田村久美¹⁾、
保阪由美子¹⁾、加藤哲朗¹⁾、佐藤文哉¹⁾、
堀野哲也¹⁾、中澤 靖¹⁾、吉田正樹¹⁾、
堀 誠治¹⁾

1) 東京慈恵会医科大学附属病院 感染制御部
2) 横浜市民病院 感染症内科

P024 M. genavenseによる腹部リンパ節炎、腹
膜炎を呈したAIDSの2例

齊藤信夫¹⁾、古本朗嗣¹⁾、大澤令奈¹⁾、
北庄司絵美¹⁾、松木 啓¹⁾、田中健之¹⁾、
高木理博¹⁾、松田淳一²⁾、赤松紀彦²⁾、
神白麻衣子¹⁾、森本浩之輔¹⁾、柳原克紀²⁾、
御手洗聡³⁾、有吉紅也¹⁾

1) 長崎大学病院感染症内科(熱研内科)
2) 長崎大学病院検査部
3) 結核予防会結核研究所
抗酸菌レファレンス部細菌検査科

P025 血球貪食症候群を合併した播種性ヒスト
プラズマ症発症エイズ患者の一例

今村淳治¹⁾、横幕能行¹⁾、渡辺 哲²⁾、
今橋真弓^{1,3)}、森谷鈴子⁴⁾、堤 寛^{4,5)}、
亀井克彦²⁾、杉浦 互¹⁾

1) 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター
エイズ治療開発センター
2) 千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野
3) 名古屋大学大学院医学系研究科
4) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
病理診断科
5) 藤田保健衛生大学医学部病理学

P026 クリプトコッカス髄膜炎・再燃に対して、
髄圧コントロールに苦慮した1例

市田裕之¹⁾、亀田和明²⁾、笠松 悠²⁾、
羽田野義郎²⁾、白野倫徳²⁾、後藤哲志²⁾

1) 大阪市立総合医療センター薬剤部
2) 大阪市立総合医療センター感染症センター

P027 遷延する蜂窩織炎を契機に後天性免疫不
全症候群が診断された1例

池野義彦¹⁾、阿久津郁夫²⁾、仲澤 恵³⁾、
藤田朋美³⁾、中園健一⁴⁾、高野尊行⁴⁾、
薄井啓一郎⁵⁾、百瀬 薫⁵⁾、崎尾浩由⁵⁾、
近江史人²⁾、村山慶樹²⁾、前田一樹²⁾

1) 那須赤十字病院リウマチ科
2) 那須赤十字病院呼吸器内科
3) 那須赤十字病院看護部
4) 那須赤十字病院薬剤部
5) 那須赤十字病院検査部
6) 那須赤十字病院第2内科

臨床：悪性腫瘍

P028 結腸多発癌を併発したHIV感染症の一例

石島聡子¹⁾、鈴木麻衣²⁾、乾 啓洋²⁾、
鈴木彰人²⁾、渡辺由希子²⁾、内藤俊夫²⁾、
磯沼 弘²⁾

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院
臨床研修センター
2) 順天堂大学医学部総合診療科

P029 治療抵抗性を示したHIV感染症合併CD20
陰性Diffuse Large B cell Lymphoma

小川吉彦、廣田和之、伊熊素子、
矢嶋敬史郎、渡邊 大、西田恭治、
上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

P030 門脈塞栓など多彩な病変分布で発症し
たAIDS関連intravascular large B-cell
lymphoma (IVLBCL)の一例

喜安純一^{1,2)}、高濱宗一郎³⁾、郭 悠³⁾、
中嶋恵理子³⁾、南 留美³⁾、油布祐二¹⁾、
大島孝一²⁾、山本政弘³⁾

1) 麻生飯塚病院血液内科
2) 久留米大学病理学教室
3) 国立病院機構九州医療センター
免疫感染症内科 臨床研究部

P031 HIV感染合併悪性腫瘍患者での緩和ケア
医療の選択

馬渡桃子^{1,2,3)}、細川 舞⁴⁾、小林 剛⁴⁾、
萬田緑平⁵⁾、小笠原一夫⁵⁾、小倉秀充⁶⁾、
林 俊誠³⁾、柳澤邦雄³⁾、小川孔幸³⁾、
合田 史^{3,7)}、内海英貴^{3,8)}、澤村守夫²⁾

1) 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター
2) 西群馬病院血液内科
3) 群馬大学大学院生体統御内科学/
群馬大学医学部附属病院血液内科
4) 西群馬病院緩和ケア科
5) 緩和ケア診療所・いっぽ
6) 前橋赤十字病院血液内科
7) 高崎総合医療センター総合診療科
8) 白根クリニック

P032 HIV陽性患者に発症した大腸MALTリンパ
腫に対しRituximabが奏効した一例

鏡 亮吾、勝田倫子、水守康之、
河村哲治、中原保治、望月吉郎

国立病院機構 姫路医療センター

一般演題(ポスター)

P033 HIV感染者に合併した肺の腺扁平上皮癌の一例

大寺 博^{1,2)}、矢嶋敬史郎¹⁾、伊熊素子¹⁾、
廣田和之¹⁾、小川吉彦¹⁾、笠井大介¹⁾、
渡邊 大¹⁾、西田恭治¹⁾、上平朝子¹⁾、
白阪琢磨¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
2) 神戸大学医学部附属病院呼吸器内科

P039 大阪医療センターにおけるHIV/HCV重複感染凝固異常患者の解析

笠井大介、廣田和之、伊熊素子、
小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊 大、
西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

臨床：免疫再構築症候群

P034 6か月間の抗結核治療後に、免疫再構築症候群として脳結核腫の増悪を認めた症例

伊熊素子、渡邊 大、廣田和之、
小川吉彦、矢嶋敬史郎、笠井大介、
西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター

P040 急性HIV／HBV重複感染の一例

莊 信博¹⁾、和田達彦¹⁾、加藤 名¹⁾、
原 亮祐¹⁾、松枝 佑¹⁾、安部学朗¹⁾、
有沼良幸¹⁾、永井立夫¹⁾、高山陽子²⁾、
田中住明¹⁾、廣畑俊成¹⁾

1) 北里大学医学部膠原病・感染内科
2) 北里大学医学部 新世紀医療開発センター

P035 カポジ肉腫の治療中に新たに日和見感染症を発症した3例

廣田和之、矢嶋敬史郎、伊熊素子、
小川吉彦、笠井大介、渡邊 大、
西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター感染症内科

臨床：生活習慣病関連合併症 (CVD、脂質代謝異常、糖尿、高血圧、腎障害)

P041 先天性腎奇形のある症例に対してART療法を行った2症例の検討

池田 博¹⁾、石黒一也¹⁾、平山大輔¹⁾、
青木由佳¹⁾、丸山ゆみ子¹⁾、林 敏昭¹⁾、
國本雄介²⁾、石田禎夫¹⁾

1) 札幌医科大学 消化器免疫リウマチ内科
2) 札幌医科大学附属病院薬剤部

■会場：ポスター会場2 (熊本市国際交流会館4階)

臨床：肝炎

P036 B型肝炎合併の2症例について

西堀武明¹⁾、細貝亜由美²⁾、近藤さなえ³⁾

1) 長岡赤十字病院 感染症科
2) 長岡赤十字病院 看護部
3) 長岡赤十字病院 薬剤部

P042 膜性腎症合併HIV感染症の2症例

小川孔幸¹⁾、柳澤邦雄¹⁾、林 俊誠¹⁾、
月田真祐子²⁾、馬渡桃子³⁾、合田 史⁴⁾、
内海英貴⁵⁾、石崎芳美⁶⁾、広村桂樹²⁾、
野島美久²⁾

1) 群馬大学大学院 生体統御内科学/
群馬大学医学部附属病院 血液内科
2) 群馬大学医学部附属病院 腎臓リウマチ内科
3) 国立病院機構 西群馬病院 血液内科
4) 国立病院機構 高崎総合医療センター 総合診療科
5) 医療法人社団日高会 白根クリニック
6) 群馬大学医学部附属病院 看護部

P037 当院におけるHIVとB型肝炎ウイルス(HBV)の重複感染症例の検討

鶴見 寿^{1,2)}、末次 淳¹⁾、渡邊珠代^{2,3)}、
後藤尚絵¹⁾、鶴見広美^{2,4)}、河田祐里⁴⁾、
石原正志^{2,5)}、中村信彦¹⁾、森脇久隆¹⁾

1) 岐阜大学医学部附属病院第一内科
2) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
3) 岐阜大学医学部附属病院生体支援センター
4) 岐阜大学医学部附属病院看護部
5) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部

P043 当院のHIV感染者における骨代謝異常の検討 —第1報—

上田幹夫¹⁾、小谷岳春²⁾、青木 剛¹⁾、
山田三枝子^{1,5)}、高山次代¹⁾、辻 典子^{1,5)}、
渡邊珠代³⁾、塚田訓久⁴⁾

1) 石川県立中央病院
2) 金沢大学附属病院
3) 岐阜大学医学部附属病院
4) 国立国際医療研究センター病院
5) 公益財団法人エイズ予防財団

P038 九州医療センターにおけるHIV／HBV重複感染者のB型肝炎ウイルス遺伝子型の検討

高橋真梨子、南 留美、山本政弘

国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター

P044 形質芽細胞性リンパ腫の化学療法後に遷延した貧血に対しL-カルニチン製剤の内服が有用であったAIDS症例

福田寛文、和田秀穂、徳永博俊、是澤里紗、杉原 尚

川崎医科大学附属病院血液内科

P045 当院にてTDFを含むレジメンからABCを含むレジメンに使用した症例の腎機能障害に関する比較検討

松村一希¹⁾、明石一弘¹⁾、藤原 宏¹⁾、親泊あいみ²⁾、南宮 湖³⁾、小谷 宙⁴⁾、戸蒔祐子⁵⁾、加島 明⁶⁾、矢永由里子¹⁾、加藤真吾²⁾、長谷川直樹¹⁾、岩田 敏¹⁾

1) 慶應義塾大学医学部感染制御センター
2) 慶應義塾大学医学部微生物・免疫学
3) 慶應義塾大学医学部呼吸器内科
4) 慶應義塾大学病院薬剤部
5) 慶應義塾大学病院看護部
6) 慶應義塾大学病院入退院センター

P049 血液製剤によるHIV感染者の調査成績 第1報 CD4値、HIV-RNA量と治療の現状と推移

白阪琢磨¹⁾、日笠 聡²⁾、岡 慎一³⁾、川戸美由紀⁴⁾、橋本修二⁴⁾、吉崎和幸⁵⁾、福武勝幸⁶⁾、八橋 弘⁷⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター
2) 兵庫医科大学
3) 国立国際医療研究センター
4) 藤田保健衛生大学
5) 大阪大学
6) 東京医科大学
7) 国立病院機構長崎医療センター

P050 血液製剤によるHIV感染者の調査成績 第2報 抗HIV薬の組み合わせの変更とCD4値、HIV-RNA量の関連性

川戸美由紀¹⁾、橋本修二¹⁾、岡 慎一²⁾、吉崎和幸³⁾、福武勝幸⁴⁾、日笠 聡⁵⁾、八橋 弘⁶⁾、白阪琢磨⁷⁾

1) 藤田保健衛生大学
2) 国立国際医療研究センター
3) 大阪大学
4) 東京医科大学
5) 兵庫医科大学
6) 国立病院機構長崎医療センター
7) 国立病院機構大阪医療センター

臨床：抗HIV療法

P046 HIV小児感染者のための施設（バンガロール）における抗レトロウイルス治療について

日下 都
かんまき薬局

P047 HIV陽性患者における、低周波治療器と按腹法によるCD4値上昇と症状の改善～ベナン共和国ダサ地域をフィールドとして～

前川富三¹⁾、細田 亮¹⁾、Patrice Midete²⁾、Clemen Agossadou²⁾

1) Health for the World (NGO)
2) ダサ国立病院

P048 名古屋医療センターにおける悪性疾患合併HIV感染者の化学療法、緩和療法の現状

水谷実花、柴田雅章、福島直子、佐藤大介、松本修一、副田雅也、横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター 薬剤科

P051 初回抗HIV療法の年齢による有効性への影響の検討

林 志穂¹⁾、下川千賀子¹⁾、安田明子¹⁾、柏原宏暢¹⁾、木山茂春¹⁾、山田三枝子²⁾、辻 典子²⁾、上田幹夫³⁾

1) 石川県立中央病院薬剤部
2) 石川県立中央病院HIV事務室・エイズ予防財団
3) 石川県立中央病院免疫感染症科

P052 当院におけるリルピビリンの使用経験の報告

澤田暁宏¹⁾、日笠 聡¹⁾、徳川多津子¹⁾、日笠真一²⁾、安田 恵²⁾、秀田恭子²⁾、木村 健²⁾、小川啓恭¹⁾

1) 兵庫医科大学 血液内科学講座
2) 兵庫医科大学病院薬剤部

- P053** 抗HIV薬の血中濃度モニタリングを行った短腸症候群の一例
 渡邊 大^{1,2)}、伊熊素子²⁾、矢倉裕輝³⁾、高橋昌明⁴⁾、柴田雅章⁴⁾、櫛田宏幸³⁾、吉野宗宏³⁾、廣田和之²⁾、小川吉彦²⁾、矢嶋敬史郎²⁾、笠井大介²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、杉浦 互⁵⁾、白阪琢磨^{1,2)}
 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター エイズ先端医療研究部
 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科
 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤部
 4) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤科
 5) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- P054** 北里大学病院における抗HIV薬の処方変更とHIVチームの関わり
 新井万理子¹⁾、田中博之²⁾、友田吉則²⁾、松本圭祐²⁾、和田達彦³⁾、高山陽子⁴⁾、松山晃代⁵⁾、齊藤聡子⁵⁾、厚田幸一郎²⁾、黒山政一¹⁾
 1) 北里大学東病院薬剤部
 2) 北里大学病院薬剤部
 3) 北里大学医学部膠原病・感染内科
 4) 北里大学医学部附属新世紀医療開発センター
 5) 北里大学病院看護部
- P055** 名古屋医療センターにおける周術期の抗HIV薬選択と予後の調査
 福島直子¹⁾、柴田雅章¹⁾、水谷実花¹⁾、佐藤大介¹⁾、松本修一¹⁾、横幕能行²⁾、杉浦 互²⁾
 1) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤科
 2) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- P056** ラルテグラビルと金属含有製剤の相互作用の可能性
 田中博之^{1,3)}、稲野 寛¹⁾、和田達彦²⁾、佐藤光利³⁾、厚田幸一郎^{1,4)}
 1) 北里大学病院薬剤部
 2) 北里大学医学部膠原病・感染内科
 3) 東邦大学薬学部薬物安全性学研究室
 4) 北里大学薬学部
- P057** 当院における抗HIV薬の使用状況について
 右川 浩¹⁾、田中三枝子¹⁾、高森幹雄²⁾
 1) 東京都立多摩総合医療センター 薬剤科
 2) 東京都立多摩総合医療センター 呼吸器内科
- P058** 当院における fosamprenavir 使用症例の検討
 治田匡平¹⁾、松島紫乃¹⁾、古西 満²⁾、宇野健司²⁾、善本英一郎²⁾、小川 拓²⁾、三笠桂一²⁾、宇野雅之¹⁾
 1) 奈良県立医科大学附属病院 薬剤部
 2) 奈良県立医科大学 感染症センター
- P059** 薬物相互作用により投与量調整に難渋した一症例
 尾崎淳子¹⁾、山本 崇¹⁾、矢野育子¹⁾、松原和夫¹⁾、小林正行²⁾、高折晃史²⁾
 1) 京都大学医学部附属病院薬剤部
 2) 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学
- P060** 沼津市立病院における抗HIV薬の薬剤変更に関する調査
 森下和美¹⁾、野毛一郎¹⁾、吉田康秀²⁾
 1) 沼津市立病院薬剤部
 2) 沼津市立病院呼吸器内科
- P061** 新潟大学医歯学総合病院におけるリルピビリンの使用状況
 齋藤直美¹⁾、笹原浩康¹⁾、荒川圭子¹⁾、外山 聡¹⁾、佐藤 博¹⁾、田邊嘉也²⁾
 1) 新潟大学医歯学総合病院薬剤部
 2) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
- P062** 薬剤性腎機能障害によりcART変更となった一症例—薬剤変更のトリガーとしての腎障害—
 阿部憲介¹⁾、佐藤麻希¹⁾、小山田光孝¹⁾、塚本琢也^{1,2)}、伊藤ひとみ¹⁾、佐藤 功^{1,3)}、伊藤俊広¹⁾
 1) 国立病院機構 仙台医療センター
 2) 公益財団法人 エイズ予防財団
 3) 医療法人医徳会 真壁病院
- P063** 抗HIV薬服用患者におけるOTC医薬品・健康食品の使用状況と問題点～ドラッグストア併設保険調剤薬局において～
 海老昌子¹⁾、岡村奈津子¹⁾、細矢雅秀¹⁾、吉永菜穂¹⁾、矢野道代¹⁾、星 正敏¹⁾、宮崎菜穂子²⁾、阿部真也³⁾、吉町昌子³⁾、後藤輝明³⁾
 1) 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店 ツルハHD(株)リバーズ
 2) 東京大学医科学研究所附属病院
 3) ツルハHD (株)ツルハ

一般演題(ポスター)

臨床：歯科

P064 HIV患者に認められた急性壊死性潰瘍性
歯肉炎の1例

千葉 緑¹⁾、茂木伸夫¹⁾、加藤博史²⁾、
今村顕史²⁾、味澤 篤²⁾、島村あみ³⁾、
川名美智子³⁾、池上由美子³⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院歯科口腔外科
2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
3) がん・感染症センター都立駒込病院看護部

P065 広島市立広島市民病院歯科口腔外科にお
けるHIV患者の治療概況

中野 誠¹⁾、澤木康一¹⁾、岡崎文彦¹⁾、
平田泰久¹⁾、矢尾直明¹⁾、佐藤亜希¹⁾、
高木 慎^{1,2)}、若松和子¹⁾、北山美穂¹⁾、
中村真弓¹⁾、三島久美¹⁾、三隅恵子¹⁾、
松本静二¹⁾、中津千恵子³⁾、松本俊治⁴⁾、
野田昌昭⁵⁾

1) 広島市立広島市民病院 歯科口腔外科
2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 顎口腔再建外科学
3) 広島市立広島市民病院
医療支援センター総合相談室
4) 広島市立広島市民病院 薬剤部
5) 広島市立広島市民病院 血液内科

■会場：ポスター会場3-1
(熊本市国際交流会館6階)

臨床：HAND

P066 急性HIV感染症の経過中に両側顔面神経
麻痺と虫垂炎を合併した一例

森岡 悠^{1,2)}、阪本直也¹⁾、岩淵千太郎¹⁾、
大西健児¹⁾

1) 都立墨東病院 感染症科
2) 名古屋大学医学部 中央感染制御部

P067 HIV関連神経認知障害 (HAND) における
髄液中のHIV-RNA量、ネオプテリン量の
測定

高田清式¹⁾、村上雄一²⁾、末盛浩一郎²⁾、
安川正貴²⁾、辻井智明³⁾、西川典子³⁾、
木村博史⁴⁾、井門敬子⁴⁾、中村真理子⁵⁾、
藤原光子⁵⁾、中尾 綾²⁾、小野恵子⁶⁾

1) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター
2) 愛媛大学医学部附属病院 血液・免疫・感染症内科
3) 愛媛大学医学部附属病院 薬物療法・神経内科
4) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
5) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
6) 愛媛大学医学部附属病院 医療福祉支援センター

P068 当院におけるHAND発症を疑った症例の
検討

山口敏行¹⁾、新井 優²⁾、逸見和範²⁾、
筋野恵介¹⁾、樽本憲人¹⁾

1) 埼玉医科大学医学部感染症科・感染制御科
2) 埼玉医科大学病院薬剤部

臨床：副作用

P069 DRV服薬による脂質への影響

吉村 歩¹⁾、五十嵐俊¹⁾、高尾良洋¹⁾、
吉村幸浩²⁾、立川夏夫²⁾

1) 横浜市立市民病院薬剤部
2) 横浜市立市民病院感染症内科

P070 テノビル薬剤性と考えられる腎性尿崩
症から腎前性急性腎不全に至った一例

竹松茂樹^{1,2)}、富島公介²⁾、勝田倫子³⁾、
八城正知⁴⁾、北村良雄²⁾、望月吉郎³⁾

1) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター
2) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター薬剤科
3) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター
呼吸器内科
4) 姫路獨協大学

P071 石川県立中央病院におけるリルピビリン
使用状況について

安田明子¹⁾、下川千賀子¹⁾、林 志穂¹⁾、
柏原宏暢¹⁾、山田三枝子²⁾、辻 典子²⁾、
上田幹夫³⁾

1) 石川県立中央病院 薬剤部
2) エイズ予防財団
3) 石川県立中央病院 診療部

臨床：臨床薬理

P072 日本人HIV感染症患者におけるtenofovir
血中濃度と腎機能低下の関連性の検討

國本雄介¹⁾、任田宜史¹⁾、中田浩雅¹⁾、
野田師正¹⁾、池田 博²⁾、安井 寛³⁾、
石田禎夫²⁾、宮本 篤¹⁾

1) 札幌医科大学附属病院薬剤部
2) 札幌医科大学医学部
消化器・免疫・リウマチ内科学講座
3) 東京大学医科学研究所附属病院
抗体・ワクチンセンター

P073 The pharmacokinetics and safety of
rilpivirine after single oral administration
of EDURANT under fed condition in
Japanese healthy adult male subjects

Kentaro Ohta¹⁾、Tohru Izumoto²⁾、
Yoko Murata³⁾、Yuko Tsukamoto¹⁾

1) Clinical Pharmacology Department, Janssen
Pharmaceutical K.K.
2) Biostatistics Department, Janssen Pharmaceutical K.K.
3) Project Management Office, Janssen Pharmaceutical
K.K.

臨床：薬剤耐性／服薬アドヒアランス

P074 HIV-1のCCR5指向性検査における多重測定の有用性

松田昌和¹⁾、蜂谷敦子¹⁾、今村淳治¹⁾、
横幕能行¹⁾、岩谷靖雅^{1,2)}、杉浦 互^{1,2)}

1) 名古屋医療センター 感染・免疫研究部
2) 名古屋大学大学院医学研究科

P075 エジュラント単剤投与で薬剤耐性変異を獲得した一例

尾形享一^{1,2)}、四本美保子¹⁾、丹羽一貴¹⁾、
山元泰之¹⁾、福武勝幸¹⁾

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科
2) 尾形クリニック

P076 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査—抗HIV薬の薬剤変更状況調査(2013年)

小島賢一¹⁾、日笠 聡²⁾、桑原 健³⁾、
山元泰之⁴⁾

1) 荻窪病院血液科
2) 兵庫医科大学血液内科
3) 国立循環器病研究センター 薬剤部
4) 東京医科大学病院臨床検査医学教室

P077 外来におけるARTの服薬支援と医療連携～保険薬局に求められる役割～

勝股祐美¹⁾、角南直美¹⁾、松永伸一²⁾、
井川千恵子²⁾、柳田月美²⁾、藤井基博²⁾、
八田加奈子²⁾、平泉君江¹⁾

1) わかば薬局
2) 東葛病院

P078 抗HIV薬の内服管理実態調査と今後の指導体制構築

前田真輝、大澤麻貴子、當麻厚子、
加賀谷隆彦、小島賢一、長尾 梓、
花房秀次

医療法人財団 荻窪病院

P079 抗HIV薬一包化の服薬アドヒアランスへの影響の検討

宇高 歩¹⁾、松浦基夫²⁾、藤本卓司³⁾、
大田加与⁴⁾、大成功一⁴⁾

1) 市立堺病院薬剤科
2) 市立堺病院腎代謝免疫内科
3) 市立堺病院総合内科
4) 市立堺病院呼吸器内科

臨床：合併症・STI・STD

P080 HIV感染後に尋常性乾癬を発症し、サイトメガロウイルス網膜炎と梅毒感染、カポジ肉腫を合併した一例

藤友結実子^{1,2)}、廣田和之²⁾、米本仁史^{2,3)}、
大寺 博^{2,4)}、小泉祐介^{2,5)}、矢嶋敬史郎²⁾、
渡邊 大²⁾、西田恭治²⁾、上平朝子²⁾、
白阪琢磨²⁾、小澤健太郎⁶⁾

1) 京都府立医科大学感染制御検査医学教室
2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科
3) 洛和会丸太町病院総合内科
4) 神戸大学附属病院呼吸器内科
5) 滋賀医科大学附属病院血液内科
6) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター皮膚科

P081 壊疽性膿皮症を発症したHIV感染者の1例

阪本直也¹⁾、関谷紀貴²⁾、柳澤如樹¹⁾、
菅沼明彦¹⁾、今村顕史¹⁾、味澤 篤¹⁾

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科

P082 大阪府内の性感染症関連診療所受診者におけるHIV・HBV・梅毒の疫学調査とHIV検査勧奨の効果

小島洋子¹⁾、川畑拓也¹⁾、森 治代¹⁾、
駒野 淳¹⁾、古林敬一²⁾、谷口 恭³⁾、
岩佐 厚⁴⁾、谷口幸一⁵⁾、木村博子⁶⁾

1) 大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウイルス課
2) そねぎ古林診療所
3) 太融寺町谷口医院
4) 岩佐クリニック
5) 谷口レディースクリニック
6) 木村クリニック

P083 順天堂大学浦安病院における過去10年間の新規HIV感染者にともなった皮膚症状の検討

木下綾子¹⁾、佐々木信一²⁾、中沢武司³⁾、
南條友央太²⁾、高森建二¹⁾、須賀 康¹⁾

1) 順天堂大学浦安病院 皮膚科
2) 順天堂大学浦安病院 呼吸器内科
3) 順天堂大学浦安病院 感染対策室

P084 仙台医療センターにおけるHIV感染患者の合併慢性感染症の検討

山本善彦^{1,2)}、佐藤 功^{1,3)}、伊藤俊広¹⁾

1) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科
2) 医薬品医療機器総合機構新薬審査第四部
3) 真壁病院

P085 HIV感染症に潰瘍性大腸炎を合併した一症例

村上雄一¹⁾、末盛浩一郎¹⁾、安川正貴¹⁾、
佐藤浩一²⁾、安念 優²⁾、高田清式²⁾、
井門敬子³⁾、森健一郎⁴⁾

- 1) 愛媛大学医学部医学系研究科
血液・免疫・感染症内科学
- 2) 愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター
- 3) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 愛媛大学医学部医学系研究科
消化器・内分泌・代謝内科学

臨床：看護

P090 中年期・老年期のHIV/AIDS患者へのセクシュアルヘルスケアの検討

齊藤聡子¹⁾、松山晃代¹⁾、前田景子²⁾、
田中博之³⁾、友田吉則³⁾、松本圭祐³⁾、
和田達彦⁴⁾、高山陽子⁵⁾

- 1) 北里大学病院看護部
- 2) 北里大学病院患者支援センター一部
- 3) 北里大学病院薬剤部
- 4) 北里大学病院膠原病感染内科
- 5) 北里大学病院感染管理室

臨床：母子感染

P086 AZT/3TCが投与されていたHIV感染母体からの児が無顆粒球症を発症した1例

山田瑛子¹⁾、木内 英²⁾、吉本順子³⁾、
高木律男¹⁾、加藤真吾⁴⁾

- 1) 新潟大学歯学部顎顔面口腔外科学分野
- 2) 国立国際医療研究センター病院
エイズ治療・研究開発センター
- 3) 岡山大学病院小児科
- 4) 慶応大学医学部微生物学・免疫学教室

P091 HIV/AIDSの病名告知を受けた家族の思い～ナラティブ(語り)を傾聴することを通して～

鈴木成子、竹村康晴、山尾美希、
梅原美加子、白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター

P092 IADL調査による服薬状況の確認

木村亜由美¹⁾、村上 愛¹⁾、高木雅敏¹⁾、
井原国代¹⁾、塘田貴代美¹⁾、木村真知子²⁾

- 1) 熊本大学医学部附属病院
- 2) 熊本大学社会文科学研究科

P087 第2子妊娠中にHIVに感染し、EFV内服中に第3子を妊娠した一症例

合田 史¹⁾、片貝栄樹²⁾、伊藤郁朗²⁾、
五十嵐恒雄³⁾、渡邊俊樹¹⁾、佐藤正通¹⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター
総合診療科
- 2) 独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター
産婦人科
- 3) 独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター
小児科

P093 県内離島病院における診療体制構築への取り組みと課題

前田サオリ¹⁾、健山正男²⁾、宮城京子¹⁾、
比嘉 太²⁾、仲村秀太²⁾、田里大輔²⁾、
石郷岡美穂³⁾、新江裕貴⁴⁾、大城市子⁵⁾、
辺土名優美子⁵⁾、翁長 薫²⁾、小橋川文江¹⁾、
下地孝子¹⁾、藤田次郎²⁾

- 1) 琉球大学医学部附属病院看護部
- 2) 同大学医学部研究科感染症・呼吸器・内科学講座
- 3) 同病院地域医療部
- 4) 同病院薬剤部
- 5) 沖縄県HIV派遣カウンセラー

P088 HIV感染妊婦におけるロピナビル・リトナビルの血中濃度推移

石原正志^{1,5)}、鶴見 寿^{2,5)}、寺沢恵子³⁾、
高橋昌明⁴⁾、柴田雅章⁴⁾、鶴見広美^{5,6)}、
渡邊珠代^{2,5)}、中村信彦²⁾、河田祐里⁶⁾、
林 寛子¹⁾、北市清幸¹⁾、村上啓雄²⁾、
伊藤善規¹⁾、森脇久隆²⁾

- 1) 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 岐阜大学医学部附属病院 第一内科
- 3) 岐阜大学医学部附属病院 成育医療・女性科
- 4) 名古屋医療センター 薬剤科
- 5) 岐阜大学医学部附属病院 エイズ対策推進センター
- 6) 岐阜大学医学部附属病院 看護部

P094 地方都市エイズ拠点病院の外来診療におけるHIV感染者に対する看護支援の試み

鶴見広美^{1,2)}、河田祐里²⁾、鶴見 寿^{1,3)}、
渡邊珠代¹⁾、石原正志^{1,4)}、後藤尚絵³⁾、
中村信彦³⁾、林 寛子⁴⁾、安藤真由実²⁾、
森脇久隆³⁾

- 1) 岐阜大学医学部附属病院エイズ対策推進センター
- 2) 岐阜大学医学部附属病院看護部
- 3) 岐阜大学医学部附属病院第一内科
- 4) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部

P089 Mother-to-Child transmission of HIV-1 in Northern Vietnam

Phan Thi Thu Chung, Pham Viet Hung,
石崎有澄美、畢 袖晴、市村 宏

金沢大学医薬保健学総合研究科
ウイルス感染症制御学分野

一般演題(ポスター)

P095 中核拠点病院におけるPML発症患者の退院支援の検討

隈部綾子¹⁾、外島正樹²⁾、鶴沼奈穂子²⁾、大貫紀子³⁾、富田和子⁴⁾、大枝優美⁵⁾、宮田信之⁶⁾、江田勝枝⁷⁾、小森久代⁸⁾、長洲奈月⁸⁾

1) 自治医科大学附属病院 地域医療学センター
総合診療部門
2) 自治医科大学附属病院 臨床感染症センター
感染症科
3) 自治医科大学附属病院 看護部
4) 自治医科大学附属病院 地域連携部 看護支援室
5) 自治医科大学附属病院 地域連携部 総合相談室
6) 宮田医院
7) みやた訪問看護ステーション
8) 茨城県筑西保健所 保健指導課

P096 HIVサポートリーダー養成研修での新たな試み ～実地見学を通して得られる体験～

椿 知恵¹⁾、佐保美奈子¹⁾、古山美穂¹⁾、山田加奈子¹⁾、工藤里香²⁾

1) 大阪府立大学看護学部
2) 兵庫医療大学看護学部

P097 A病院2年目看護師のHIV看護に関する認識と知識習得状況の実態調査-HIV看護実践能力向上に向けた教育方法の検討-

藤川 幸、下司有加、増田雅子、宮本典子

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

P098 HIV/AIDS看護に関する研究の動向 - 1993～2012年 -

松山奈央¹⁾、竹林早苗¹⁾、今津陽子²⁾、森みずえ³⁾、渡部節子³⁾

1) 公立大学法人横浜市立大学附属病院
2) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
3) 横浜市立大学医学部看護学科

P099 HIV/AIDS患者における抑うつの実態と関連要因に関する文献レビュー

中村真紀¹⁾、森みずえ²⁾、渡部節子²⁾

1) 公立大学法人横浜市立大学附属病院看護部
2) 横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻

P100 当院におけるHIV感染妊婦の受け入れの現状と課題

森 明美¹⁾、浅田裕子¹⁾、高山次代¹⁾、山田三枝子^{1,2)}、上田幹夫¹⁾

1) 石川県立中央病院
2) 公益財団法人エイズ予防財団

■会場：ポスター会場3-2
(熊本市国際交流会館6階)

社会：行動科学・意識調査、予防・教育

P101 イベントでの街頭(院外)HIV迅速診断検査およびアンケート調査の解析

鎌田智大¹⁾、鳴河宗聡²⁾、田代将人²⁾、山本善裕²⁾

1) 富山大学医学部医学科 M2
2) 富山大学医学部 感染予防医学講座/感染症科

P102 人権講演会「エイズ予防講座」からの高校生の学び

佐保美奈子¹⁾、鈴木光次²⁾、古山美穂¹⁾、山田加奈子¹⁾、椿 知恵¹⁾

1) 大阪府立大学大学院看護学研究科
2) 東大阪山路病院

P103 医療現場から高校へ予防教育に出向いた経験と結果について

宮林優子、吉村幸浩、立川夏夫
横浜市立市民病院

P104 ザンビア共和国ルサカ州チランガ郡における地域住民主体の予防啓発活動の成果

河野 洋、永井萌子

特定非営利活動法人 難民を助ける会 Association for Aid and Relief, Japan (AAR Japan)

P105 TALKING ABOUT SEX プロジェクト

羽鳥 潤

特定非営利活動法人 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

P106 アジアの文化的感受性を伴ったHIVスティグマ・スケールの作成、及びアジア系アメリカ感染者のスティグマ・レベルの測定

神谷英美子^{1,2)}、Dawson-Rose Carol¹⁾

1) University of California, San Francisco
2) Asian and Pacific Islander Wellness Center

P107 中国四国ブロックにおけるエイズ診療拠点病院医師向け研修会に対する評価とそのあり方について

齊藤誠司¹⁾、石原麻彩²⁾、鍵浦文字²⁾、喜花伸子²⁾、藤井健司³⁾、藤田啓子³⁾、畝井浩子³⁾、山崎尚也¹⁾、藤井輝久^{1,2)}、高田 昇^{3,4)}

1) 広島大学病院 輸血部
2) 広島大学病院 エイズ医療対策室
3) 広島大学病院 薬剤部
4) 広島文化学園大学 看護学部 看護学科

社会：政策・医療体制

P108 HIV感染症に関する倫理的な議論の枠組みについて—海外文献の調査に基づく研究

大北全俊¹⁾、遠矢和希²⁾、加藤 穰²⁾、
Franziska Kasch¹⁾、花井十伍³⁾、横田恵子⁴⁾、
白阪琢磨⁵⁾

- 1) 大阪大学大学院文学研究科
- 2) 日本学術振興会
- 3) ネットワーク医療と人権
- 4) 神戸女学院大学文学部
- 5) 国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS先端医療開発センター

P109 CCR5指向性ウイルス判定のためのトロピズム検査実施下におけるマラビロク治療の医療経済評価

村澤秀樹^{1,2)}、木戸朝子³⁾、荒川一郎¹⁾

- 1) 帝京平成大学薬学部
- 2) 筑波大学大学院人間総合科学研究科
- 3) 牛久愛和病院薬剤部

P110 2012年度における当科の新規受診患者の検討

矢嶋敬史郎¹⁾、井内亜紀子^{1,6)}、黒田美和²⁾、
安尾利彦⁴⁾、下司有加³⁾、仲倉高広⁴⁾、
吉野宗宏⁵⁾、上平朝子¹⁾、白阪琢磨¹⁾

- 1) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 2) 同医療相談室
- 3) 同看護部
- 4) 同臨床心理室
- 5) 同薬剤部
- 6) 公益財団法人エイズ予防財団

P111 新潟県内病院におけるHIV感染症の知識に関する調査

石塚さゆり^{1,2)}、川口 玲¹⁾、内山正子¹⁾、
田邊嘉也¹⁾

- 1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部
- 2) (公財) エイズ予防財団リサーチ・レジデント

P112 HIV治療の必要性と身障者手帳申請条件の乖離を認識した2症例

上田敦久¹⁾、石ヶ坪良明¹⁾、寒川 整¹⁾、
比嘉令子¹⁾、筑丸 寛²⁾、竹林早苗³⁾、
松山奈央³⁾、松井周一⁴⁾、友田安政⁵⁾、
白井 輝⁶⁾

- 1) 横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科
- 2) 同歯科・口腔外科
- 3) 同看護部
- 4) 同薬剤部
- 5) 同福祉・継続看護相談室
- 6) 聖ヨゼフ病院

P113 群馬大学医学部附属病院における抗HIV薬の院外処方移行への取り組み

兒玉知子¹⁾、小川孔幸²⁾、柳澤邦雄²⁾、
林 俊誠²⁾、石崎芳美³⁾、関上里子⁴⁾、
大川友子⁴⁾、城田陽子⁴⁾、合田 史⁵⁾、
内海英貴⁶⁾

- 1) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 同血液内科/生体統御内科
- 3) 同看護部
- 4) 同患者支援センター
- 5) 国立病院機構高崎総合医療センター
- 6) 医療法人社団日高会白根クリニック

P114 HAART導入後に保険資格喪失が発覚したいきなりエイズ症例を経験して

森口一恵、瀬戸弘和、渡辺大輔、
築地治久

伊東市民病院

P115 拠点病院診療案内からみる拠点病院の現状

須貝 恵^{1,8)}、吉用 緑²⁾、センテノ田村恵子³⁾、
鈴木智子⁴⁾、辻 典子⁵⁾、井内亜紀子⁶⁾、
濱本京子⁷⁾、田邊嘉也¹⁾、伊藤俊広⁴⁾

- 1) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) 北海道大学病院
- 4) 国立病院機構仙台医療センター
- 5) 石川県立中央病院
- 6) 国立病院機構大阪医療センター
- 7) 広島大学病院
- 8) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

P116 当薬局で経験した特定共同指導におけるHIV患者に関する服薬支援の指摘事項について

星野美佳¹⁾、田中亜希¹⁾、竹内大悟²⁾

- 1) 薬樹株式会社 わかば薬局横浜
- 2) 薬樹株式会社 営業推進本部 調剤グループ

P117 保険薬局の取り組み

中村美紀¹⁾、迫田直樹²⁾、市原紗千子¹⁾、
赤野威彦³⁾、堅田陽介³⁾

- 1) 谷町センター薬局
- 2) 法円坂薬局
- 3) 法円坂メディカル株式会社

P118 HIV感染加療中、1型糖尿病腎症が悪化し、血液透析を導入した1例

芦野有悟¹⁾、中道 崇²⁾、柳澤紀子²⁾、
宮崎真理子^{2,3)}、山本多恵³⁾、服部俊夫⁴⁾、
賀来満男¹⁾

- 1) 東北大学病院総合感染症科
- 2) 東北大学病院腎・高血圧・内分泌科
- 3) 東北大学病院血液浄化療法部
- 4) 東北大学 災害科学国際研究所

P119 中核拠点病院などとの病院連携によって HIV 感染患者の透析導入が可能になった症例

仲澤 恵¹⁾、高野尊行²⁾、池野義彦³⁾、
和久昌幸⁴⁾、荒井邦彦⁵⁾、阿久津郁夫³⁾

- 1) 日本赤十字社 那須赤十字病院看護部
- 2) 那須赤十字病院薬剤部
- 3) 那須赤十字病院内科
- 4) 白河病院内科
- 5) 済生会宇都宮病院総合内科

P120 B型肝炎ワクチン接種を妨げるもの

池谷 健
藤枝市立総合病院

■会場：ポスター会場4
(熊本市国際交流会館7階)

臨床：その他

P121 HIV 感染初期に HIV-RNA が 10^7 copies/mL を超えた 5 症例の臨床的特徴

松浦基夫¹⁾、川畑仁貴¹⁾、大田加与²⁾、
大成功一²⁾、藤本卓司³⁾、川畑拓也⁴⁾、
森 治代⁴⁾、小島洋子⁴⁾

- 1) 市立堺病院腎代謝免疫内科
- 2) 市立堺病院呼吸器内科
- 3) 市立堺病院総合内科
- 4) 大阪府立公衆衛生研究所

P122 効果・安全性に優れた抗 HIV 療法の時代における HIV 感染者の予後の検討

西島 健、上村 悠、杉原 淳、
柳川泰昭、的野多加志、石金正裕、
山元 佳、水島大輔、青木孝弘、
渡辺恒二、木内 英、本田元人、
矢崎博久、田沼順子、塚田訓久、
照屋勝治、湯永博之、菊池 嘉、
岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

P123 当院における HIV 診療の現状

彼谷裕康¹⁾、成田綾香²⁾、丸山敬子²⁾、
吉森文子²⁾、渡邊珠代³⁾、吉田 喬⁴⁾

- 1) 富山県立中央病院内科(感染症)
- 2) 富山県立中央病院 HIVT
- 3) 岐阜大学医学部付属病院生体支援センター
- 4) 静岡市立清水病院内科

社会：検査・相談体制

P124 横浜市における世界エイズデーに関連した臨時夜間 HIV 検査について

末永麻由美¹⁾、菅野美穂¹⁾、岩田真美¹⁾、
木村博和²⁾、豊澤隆弘³⁾

- 1) 横浜市健康福祉局健康安全部健康安全課
- 2) 横浜市健康福祉局健康安全部保健事業課
- 3) 横浜市保健所長

P125 WHO 国際標準株 HIV-1 と HIV-2 の濃度測定を試み

山崎さやか、加藤真吾
慶応義塾大学医学部医学研究科

P126 初診時における血液・体液暴露事故時感染症検査の事前同意書取得の試み

石ヶ坪良明¹⁾、寒川 整¹⁾、比嘉令子¹⁾、
上田敦久¹⁾、筑丸 寛²⁾、竹林早苗³⁾、
松山奈央³⁾、松井周一⁴⁾、友田安政⁵⁾、
白井 輝⁶⁾

- 1) 横浜市立大学附属病院リウマチ・血液・感染症内科
- 2) 同歯科・口腔外科
- 3) 同看護部
- 4) 同薬剤部
- 5) 同福祉・継続看護相談室
- 6) 聖ヨゼフ病院

P127 首都圏保健所における HIV 抗体検査受検者に対する結果通知率と陽性者の医療機関受診確認率—エイズ予防のための戦略研究データより

高野 操¹⁾、中澤よう子²⁾、金子典代³⁾、
塩野徳史³⁾、生島 嗣⁴⁾、荒木順子⁵⁾、
岩橋恒太³⁾、市川誠一³⁾、岡 慎一¹⁾、
木村 哲^{6,7)}

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 神奈川県保健福祉局保健医療部がん対策課
- 3) 名古屋市立大学大学院看護学研究所国際保健看護学
- 4) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 5) 特定非営利活動法人 akta
- 6) 公益財団法人エイズ予防財団
- 7) 東京医療保健大学

社会：カウンセリング

P128 睡眠日誌、活動量計を用いたカウンセリングにより睡眠状態が改善した HIV 感染者の 1 例

松岡亜由子¹⁾、今村淳治¹⁾、羽柴知恵子²⁾、
永見芳子^{1,3)}、杉浦 互¹⁾、横幕能行¹⁾

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- 2) (独) 国立病院機構名古屋医療センター看護部
- 3) (公財) エイズ予防財団リサーチレジデント

P129 東北HIVカウンセリングケースセミナー
—東北におけるHIVカウンセリングの展開—

高田知恵子¹⁾、高橋義博²⁾、滝本法明³⁾

- 1) 秋田大学教育文化学部
- 2) 大館市立総合病院小児科
- 3) 秋田県秋田地域振興局福祉環境部

社会：ソーシャルワーク

P130 HIV医療と介護の連携を目指した取り組み：介護支援専門員と介護従事者を対象としたHIVAIDS出前研修の報告

首藤美奈子¹⁾、南 留美¹⁾、中嶋恵理子¹⁾、
高濱宗一郎¹⁾、郭 悠¹⁾、城崎真弓¹⁾、
長與由紀子¹⁾、吉用 緑²⁾、山本政弘¹⁾

- 1) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

P131 地域を耕すピア・アルプスの実践報告
～エイズ治療拠点病院の地域活動～

小竹美千穂¹⁾、北野喜良²⁾、金井信一郎¹⁾、
牛木敦人¹⁾、小林裕子¹⁾、土屋広行¹⁾、
松田幸子²⁾、小林和代²⁾、宮澤淑子²⁾、
長谷川直子²⁾、山崎善隆³⁾

- 1) 信州大学医学部附属病院
- 2) 国立病院機構 まつもと医療センター 松本病院
- 3) 長野県須坂病院

社会：陽性者支援

P132 HIV Futures Japan プロジェクトにおける
「HIV陽性者のためのウェブ調査」の基本
設計

井上洋士¹⁾、戸ヶ里泰典¹⁾、高久陽介^{2,3)}、
矢島 嵩^{2,4)}、板垣貴志⁵⁾、阿部桜子⁶⁾、
細川陸也⁷⁾、吉澤繁行⁸⁾、大木幸子⁹⁾、
若林子ヒロ¹⁰⁾

- 1) 放送大学
- 2) 特定非営利活動法人
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団
- 4) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 5) 株式会社アクセライト
- 6) NTT docomo
- 7) 京都大学大学院
- 8) ANGEL LIFE NAGOYA
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学

P133 「Futures Japan ～HIV陽性者のための総合情報サイト～」
—作成の経緯・内容分析—

矢島 嵩^{1,8)}、井上洋士²⁾、高久陽介^{1,3)}、
板垣貴志⁴⁾、桜井啓介^{1,8)}、戸ヶ里泰典²⁾、
細川陸也⁵⁾、阿部桜子⁶⁾、吉澤繁行⁷⁾、
大木幸子⁹⁾、若林子ヒロ¹⁰⁾

- 1) 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 2) 放送大学
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団
- 4) 株式会社アクセライト
- 5) 京都大学大学院
- 6) NTT docomo
- 7) ANGEL LIFE NAGOYA
- 8) ぶれいす東京
- 9) 杏林大学
- 10) 埼玉県立大学

P134 新規HIV陽性者対象のプログラムの経過
と運営における課題—大阪での“ひよっ
こクラブ”の取り組みから—

岳中美江、大野まどか、柏木瑛信、
白野倫徳、伊達直弘、野坂祐子、
松浦基夫、青木理恵子

特定非営利活動法人CHARM

P135 医療とITの進歩で広がる医療格差：米国
低所得感染者の急性冠症候群の知識・態
度・リスク認知度を理解し、携帯アプリ
による医療弱者への予防介入の必要性と
実現可能性の検討

神谷英美子^{1,2)}

- 1) University of California, San Francisco
- 2) Asian and Pacific Islander Wellness Center

社会：在宅療養支援・ケアコーディネーション

P136 地域サービス提供者における自立困難で
長期療養が必要なHIV陽性者の受け入れ
経験

九津見雅美¹⁾、池田和子²⁾、大金美和²⁾、
内海桃絵³⁾

- 1) 千里金蘭大学看護学部
- 2) 独立行政法人国立国際医療研究センターエイズ治療・
研究開発センター (ACC)
- 3) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

P137 HIV感染者に対する在宅支援—地域との
連携におけるカウンセラーの支援—

北志保里^{1,2)}、上田幹夫¹⁾、山下美津江¹⁾、
古川夢乃¹⁾、高山次代¹⁾

- 1) 石川県立中央病院
- 2) エイズ予防財団

P138 当院におけるHIV陽性者の在宅療養支援
症例の検討—訪問看護ステーションとの
連携を中心に—

関矢早苗¹⁾、野本和美¹⁾、柳澤如樹²⁾、
菅沼明彦²⁾、今村顕史²⁾、味澤 篤²⁾

- 1) 東京都立駒込病院看護部
- 2) 東京都立駒込病院感染症科

P139 HIV脳症による運動障害が改善し車椅子
生活から歩行可能となった事例 —訪問
リハビリテーションでの関わりと経過—

正木千絵¹⁾、下畝正博²⁾

- 1) 株式会社ひかり倶楽部
訪問看護ステーションらいふ
- 2) 株式会社ひかり倶楽部

社会：薬剤

P140 HIV医療従事者研修会受講者アンケート
調査結果の解析 —研修会の効果と今後
の課題—

工藤正樹¹⁾、赤坂 博²⁾、朝賀純一¹⁾、
横田真理子³⁾、玉川聡子⁴⁾、近藤昭恵⁴⁾、
村井一範⁵⁾、工藤賢三^{1,6)}、石田陽治⁵⁾

- 1) 岩手医科大学附属病院薬剤部
- 2) 岩手医科大学内科学講座神経内科・老年科分野
- 3) 岩手医科大学附属病院看護部
- 4) 岩手医科大学附属病院医療福祉相談室
- 5) 岩手医科大学内科学講座血液・腫瘍内科分野
- 6) 岩手医科大学薬学部臨床薬剤学講座

P141 HIV陽性者をはじめとする来局者のプラ
イバシー保護のための調剤薬局における
個室整備

澤田清信¹⁾、松浦基夫²⁾、宇高 歩³⁾、
前田裕弘⁴⁾、青木理恵子⁵⁾

- 1) つぼみ薬局
- 2) 市立堺病院腎代謝免疫内科
- 3) 市立堺病院薬剤科
- 4) 国立病院機構大阪南医療センター血液内科
- 5) NPO法人CHARM